

地方史情報 167

2024年5月

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道	1	富山県	25	大阪府	44
宮城県	2	石川県	26	兵庫県	49
秋田県	3	山梨県	26	奈良県	53
福島県	3	長野県	28	和歌山県	55
栃木県	5	岐阜県	34	岡山県	56
群馬県	5	静岡県	35	広島県	57
千葉県	6	愛知県	36	愛媛県	59
東京都	8	三重県	38	福岡県	60
神奈川県	20	滋賀県	39	沖縄県	61
新潟県	22	京都府	41	寄贈図書	62

北海道

◆浦幌町立博物館だより

〒089-5614十勝郡浦幌町桜町16-1 TEL015-576-2009 2000年創刊

<https://museum-urahoro.jp>

◇2024-4 2024.4 A4 2p

マッコウクジラのこどもが漂着

持田 誠

博物館の収蔵資料から こんな資料を集めています！

イクバスイ(棒酒箸)

持田 誠

Pick up Book〔注目の本〕 図書館から 『よけいなひと言を好かれる

セリフに変える言い方図鑑』 大野萌子著

山崎 菜摘

◆浦幌町立博物館紀要

〒089-5614十勝郡浦幌町桜町16-1 TEL015-576-2009 2001年創刊

<https://museum-urahoro.jp>

◇24 2024.3 A4 62p

浦幌町立博物館所蔵の2023年度採集の蝶標本 荒川 和子
北海道十勝郡浦幌町に分布する根室層群の白亜紀／古第三紀(K/Pg)

境界剥ぎ取り標本の作製記録

久保見幸／圓谷昂史／成田敦史／持田誠／澤村寛
北海道十勝地方の草地における直翅目のファウナと多様性 高宮颯太／山内健生
調査記録 かつて浦幌で操業していたバット工場について

一聞き取り調査と関連資料 持田 誠
採集記録・観察記録 浦幌のウチダザリガニ駆除(2021～23年) 円子 紳一
資料紹介 大正十五年・昭和元年 教育雑件 浦幌村役場(8)

三浦直春・大和田努 解説

年報 2022(令和4)年度事業報告

◆北方民族博物館だより 北海道立北方民族博物館

〒093-0042網走市潮見309-1 TEL0152-45-3888 1991年創刊

<https://hoppohm.org>

◇131 2024.3 A4 6p

令和5年度企画展 ユーコン・ファーストネーションの伝統的アート

様式 協力：ユクジーズ・ヴァン・カンペン氏 中田 篤

企画展講演会 ユーコン・ファーストネーションのアート史

講師：ユクジーズ・ヴァン・カンペン氏 通訳：福田順子氏 中田 篤

講座 雪上の移動用具―スキーからスノーモービルまで

講師：中田篤 中田 篤

2023年度新収蔵資料 実物資料40点、映像資料2点、寄贈9件

令和5年度ロビー展 オホーツクシリーズ⑪ 北の情景から 野口 泰弥

講座 アラスカのゴミ問題 講師：石井花織氏 野口 泰弥

講座 北米での北方文化研究 35年を振り返る 講師：岸上伸啓氏 野口 泰弥
ロビー展 ノーザンポスター&カレンダー／データベース「みんなの
博物館」

宮 城 県

◆史の杜 上廣歴史資料学研究部門ニューズレター

東北大学東北アジア研究センター

〒980-8576仙台市青葉区川内41 TEL022-795-3140 2013年創刊

<https://uehiro-tohoku.net>

◇13 2024.2 A4 8p

古文書のひろば

近代の大河原町と大泉家

一文書の整理作業を通じた成果と今後の展望

根本みなみ

一農民が伝えようとした近世・近代の地域社会

—「歳々風雨物直咄集」

山内 励

地域との歩みのなかで

白石城から北へ二里、内方屋敷に所蔵の佐藤家文書

細田 紀明

荒武賢一朗・武田作一編『文政10年東北農村の御用留—須賀川市桑

名家文書から』

荒武賢一朗

広げよう、古文書の輪

部門ホームページ掲載、資料目録・デジタルコレクションの紹介

竹原 万雄

上廣歴史資料科学研究部門 2023年1月～12月

秋 田 県

◆秋田歴研協会誌 秋田県歴史研究者・研究団体協議会

〒010-0811秋田市泉釜ノ町16-5 渡辺方 1996年創刊

◇81 2024.3 B5 32p

表紙 国指定重要無形民俗文化財 本海獅子舞番楽（由利本荘市島海町）

特集 秋のフォーラム

番楽の里は今—後継者育成と地域活性化への取り組み

基調講演1 マタギの里・根子番楽の魅力

茶谷 十六

基調講演2 島海山の民俗芸能と四季

神田 竜浩

秋のフォーラム「民俗芸能の継承と課題」

神田竜浩氏をお迎えして「番楽の里は今」を考える

工藤 一紘

用語解説 「蔵米知行(くらまいちぎょう)」と「地方知行(じかたちぎ

ょう)」／「峠(とうげ)」

半田 和彦

歴史情報

秋田城跡 天平の井戸出土遺物の検証等

蝦名萬智子

「伊能忠敬の物証」に寄せて

神宮 滋

福 島 県

◆フークトープ通信 フークトープ通信社

〒960-8021福島市霞町9-38 シュタースティエ102室 山田英明方

2015年創刊

◇58 2024.3 A4 2p

忘れられた聖地 吾妻山大権現

及川 友江

フークトープ紀行(58) 安積疏水麓山の飛瀑(郡山市)

赤井 武史

◇59 2024.4 A4 2p

有我すずな「ときのむこう」展

菅野 俊之

フークトープ紀行(59) 信夫山公園(福島市)

赤井 武史

◆福島県史料情報 福島県文化振興事業団

〒960-8018福島市松木町13-16 Tel.024-534-9193 2002年創刊

<https://www.fcp.or.jp/history/>

◇68 2024.2 A4 4p

江戸幕府代官寺西封元の年賀状

渡邊 智裕

約三年に及ぶ諸国巡覧と『手本速覧記』

小野孝太郎

佐久間純重・藤井正竈らにみる家相の子弟関係

小野孝太郎

信夫山公園の誕生

山田 英明

日露戦争従軍通訳の記録

片村 峰雪

新徴組の復祿運動

山田 英明

◆福島史学研究 福島県史学会

〒960-8251福島市北沢又字東谷地西3-5 年3000円 1951年創刊

◇102 2024.3 A5 90p

白河戊辰戦争における野戦陣地について

一金勝寺山、笹久保山を例にして

大塚 進也

天保六年絹糸買占め一件と村の請証文

阿部 俊夫

天正十六年三春合戦と石川弾正

八巻健太郎

安積氏の居所と名字

高橋 明

書 評

阪本尚文編『知の梁山泊 草創期福島大学経済学部の研究』

佐藤 愛未

宮間純一編『公文書管理法時代の自治体と文書管理』

山田 英明

2023年度 福島県史学会研究報告会

◆文字摺通信 ふくしまの歴史と文化財

〒960-8204福島市岡部字東町35-6 守谷早苗

◇60 2024.3 A4 4p

童謡・わらべ唄：福島県女性史の一断面

雨降りお月さん、買われてきた花嫁たち
空飛ぶ白い狐に乗って
荒井 白山寺の像／保原 仙林寺の秋葉堂内の秋葉三尺坊大権現
／北町 最上位稲荷の本尊最上位経王大菩薩(稲荷大明神)

◇61 2024.04 A4 4p

豪州の旅その2：大冒険

ブリスベンからケアンズまで 片道1700km寝台車の旅！
「ストラテジー」って何だ？

あふれるカタカナ言葉。何故日本語で表記しないの？

◇62 2024.4 A4 4p

ふくしまの移民の足跡

贈られた自動御神籤販売機 平野・東屋沼神社資料館蔵
豪州の旅その2：大冒険(2)

シドニーで念願の路線バスに独りで乗りました

栃 木 県

◆鹿沼史林 鹿沼史談会

〒322-0054鹿沼市下横町1302-5 まちなか交流プラザ 年3000円 1954年創刊
<https://www.facebook.com/people/%E9%B9%BF%E6%B2%BC%E5%8F%B2%E8%AB%87%E4%BC%9A/100091390173953/>

◇63 2024.3 B5 47p

鹿沼城再考(3)

杉浦 昭博

『趣味之鹿沼』解題(前篇)

福田 純一

銀座2丁目の大般若経六百卷

国立 恵俊

源藏日記を読む 明治5年から12年まで

駒場 一男

第45回鹿沼市民文化祭歴史部門公募優秀作品(準文芸賞)

郷土史発掘・貝島「権現坂」と三峰信仰

石川 実

群 馬 県

◆群馬歴史民俗 群馬歴史民俗研究会

〒372-0033伊勢崎市本町5226-12 永島政彦方 TEL0270-32-9070 1980年創刊

◇45 2024.3 A5 106p

砂の中の怪物ーアリジゴクの民俗語彙と童唄にみる自然知

板橋 春夫

ダム建設に伴う共同墓地化と移転住民間の関係の変化

一ハツ場ダム水没地域・川原湯を事例として	渡邊 直登
近世後期における所替と藩領支配の立て直し	
一土岐氏の沼田藩入部後の展開を事例に	篠原 杏奈
「徴兵除け」「弾丸除け」の流行神	前澤 哲也
構成に伝える諏訪土俵獅子舞一笛と舞の練習方法	鈴木 英恵
書評 館林市史編さん委員会編『館林市史 別巻 館林の里沼 日本	
遺産認定記念』	亀井 好恵

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会

〒372-0033伊勢崎市本町5226-12 永島政彦方 TEL0270-32-9070 1979年創刊

◇177 2024.3 B5 4p

勝保沢の紺周郎様	板橋 春夫
長尾顕長の幼少期について	青木 裕美
第1254回例会記事 竹内励氏「伊勢崎藩酒井氏の参勤交代」(竹内)、	
鈴木英恵氏「多野郡地域における初絵習俗とその諸相」(鈴木)	

千葉県

◆我孫子市史研究センター会報

〒270-1152我孫子市寿1-3-12 荒井方 TEL04-7182-2838

<http://abikosisiken.main.jp>

◇261 (通568) 2024.2 A4 12p

古文書解読火曜部会 1月の活動報告	
布施村後藤家文書「河岸場一件控書」(P39)	古内 和巳
古文書解読火曜部会 2月の活動報告	
柏市布施後藤敏(名主善右衛門)家文書「河岸場一件控書 二」	
(40頁4行～44頁右半分)	近江 礼子
「我孫子市史を読む会」2月度活動報告	
『我孫子市史近世編』ダイジェスト版 66～71頁	萩原 正美
古代・中世史部会 2月活動報告 『将門記』を読む(第5回)	宗岡 恒雄
井上家文書研究会 2月の活動報告	
No.975 寛政7年卯8月御廻状写留(分冊1)	岡本 和男
古文書解読日曜部会 2月の活動報告	
旧根戸村「文久3年 御用留」(川村一夫家文書)	中村 千由
歴史部会 1月の活動報告	
「安産待道大権現とマツドッ講―市内における女人講の変遷過程を	

- ととしてー」補論 飯白 和子
- ◇262 (通569) 2024.3 A4 10p
- 歴史探訪会「水戸道中 中貫・稲吉・府中宿と舟塚山古墳を訪ねる」
に参加して 金成 典知
- 初級古文書講座終了
- ルーツの旅と古文書 松原 功時
- 初級古文書解説講座に参加して 奥 亜由美
- 歴史探訪部会 3月の活動報告 探訪「水戸道中 中貫・稲吉・府中
宿と舟塚山古墳を訪ねる」に参加して 長谷川秀也
- 歴史部会 2月の活動報告「馬の歴史」を点描する”を拝聴して
「馬の歴史」を点描する 山崎章蔵会員 飯白 和子
- 「我孫子市史を読む会」3月度活動報告
- 『我孫子市史近世編』ダイジェスト版 71～85頁 萩原 正美
- 古代・中世史部会 3月活動報告『将門記』を読む(第6回) 半谷 瑠南
- 井上家文書研究会 3月の活動報告
- No975 寛政7年卯8月御廻状写留(分冊2、p30～p66) 岡本 和男
- 古文書解説日曜部会 3月の活動報告
- 旧根戸村「文久3年 御用留」(川村一夫家文書) 古内 和巳

◆鎌ヶ谷市郷土資料館日より

- 〒273-0124鎌ヶ谷市中央1-8-31 TEL047-445-1030/
https://www.city.kamagaya.chiba.jp/sisetsu/kyoudo_2/
- ◇65 2023.11 A4 4p
- 徳川家から寄贈いただきました 歴史・民俗資料約7,000点
- 収蔵資料展示(25) 澁谷総司直筆の史料—澁谷家旧蔵文書の紹介(1)
- 郷土資料館セミナーを開催 房総の人と自然 ①「房総丘陵の自然」
尾崎煙雄さん、②「鳥類から見た都市と自然—ツバメ・スズメ・カ
ラス・猛禽類の栄枯盛衰—」唐沢孝一さん、③「ホテルの環境から
考える」横田耕明さん、④「長田谷津(大町自然公園)のいま」金子
謙一さん
- 郷土資料館この一品(23) 臼(うす)と杵(きね)
- 史料整理の現場から(14)
- 日記に書かれた「110年前の飛行機飛来の記録」

◆神田外語大学日本研究所紀要

- 〒261-0014千葉県市美浜区若葉1-4-1 TEL043-273-1389

◇16 2024.3 A5 152p

熊谷直実の上品上生往生観について 吉村 稔子
慶応三年前半の中央政局と薩摩藩―パークスの敦賀訪問を中心に 町田 明広
能をつくるということ

―《弓八幡》を事例に謡曲と能作論の思想的架橋をめざして 上野 太祐
『日本広東学習新語書』における無気音・有気音の仮名表記 山村 敏江
『日本広東学習新語書』と客家語 矢放 昭文
大黒屋光太夫筆ロシア文字福寿と福寿草流行について 松田 清
日本研究所主催講演会 講演要旨

シーボルト来日200周年記念 賀来佐之と伊藤圭介―二人の門人 松田 清
日本研究所活動報告 Asian Philosophical Texts(5) 開催報告
ムスタツェア・アレクサンドラ／櫻庭美咲

◆房総石造文化財研究会会報

〒275-0001習志野市東習志野5-30-4-404 木原律子方 TEL047-473-3540
年3000円 1980年創刊 <https://sites.google.com/view/bosekiken/>

◇149 2024.4 A4 4p

二月 石仏勉強会報告 三田弘氏「私の庚申信仰」私見、大塚武彦氏
「船橋の日蓮宗系庚申塔について」、宮内欽一氏「珍しい百庚申の事
例紹介」
千葉市緑区内の疱瘡神石塔 林 毅

東 京 都

◆アーカイブ通信 ネットワーク・市民アーカイブ

〒189-0012東村山市萩山町2-6-10-1F TEL042-396-2430 年6000円
2014年創刊 <http://www.c-archive.jp>

◇30 2024.3 A4 8p

資料にいかに向き合うか―聞き取りがフィールドワークへ 大門 正克
ミニコミ紹介

『La Mano 通信』クラフト工房 La Mano 1988年6月創刊 荒木 花子
『市民活動のひろば』東京・多摩地域を中心とした市民活動交流誌
2002年創刊 江頭 晃子

第9期緑蔭トーク報告 第3回 目録法の展開―「目録」は世界へ
の窓だった 中井万知子さん(元国立国会図書館職員) (記・松崎)
3館合同シンポジウム(2023年11月18日)参加報告

「市民活動資料」収集・整理・活用の現場から	高原 太一
市民アーカイブ多摩の資料棚から (17) 高齢者 (1)	吉田 明
リレーエッセイ〈市民アーカイブ多摩のひと〉 (6)	
読み捨てていた資料の保存に驚きながら	立石 昌紀
市民アーカイブ多摩の四季 (16) 春 アンズ (バラ科)	邑田 仁

◆明日を拓く／解放研究 東日本部落解放研究所

〒111-0024台東区今戸2-8-5 TEL03-5603-1863 1993年創刊

<http://www.hblri.org>

◇138 (49-3 通221) 2024.3 A5 132p 1000円

《特集 定例研究会の記録

シリーズ東日本における部落問題・人権問題にかかわる「教育・啓発・そして学び」(全6回)より「学校と地域をつなぐ①・②」(第1回・第2回)》

特集にあたって

編集 部

教育・啓発・学びについての整理メモ

吉田 勉

東日本における部落問題・人権問題にかかわる「教育・啓発・そして

学び」の記録

シリーズ第1回 学校と地域をつなぐ① 報告者 戸田眞・友兼善治・小島敏

シリーズ第1回 学校と地域をつなぐ②

報告者 藤本忠義・根本信一・石川亨助

ヒューマンライツ再入門 (7)

フェミサイド米州モデル法案—女性に対する差別と殺人

前田 朗

◇139 (49-4 通222) 2024.3 A5 235p 2000円

水平運動における社会的軋弾の歴史的位置

朝治 武

東日本部落解放研究所総会・記念講演 コリアン・ジェノサイドを考

える—関東大震災朝鮮人虐殺の世界史的位置

前田 萌

胞衣をめぐる習俗

平嶋 彰彦

研究ノート 大紀町の部落史について

友常 勉

座談会 「草津湯宿逃去り一件」をめぐる

大熊哲雄／斎藤洋一／藤沢靖介／島山洋

◆あるむぜお 府中市郷土の森博物館

〒183-0026府中市南町6-32 TEL042-368-7921 1987年創刊

<http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/>

◇147 2024.3 A4 8p

表紙 表面にくぼみがある縄文土器 (拡大写真: 中央大学考古学研究

室提供)

どんなもんだい？縄文時代 その4 土器のくぼみを調べる
最近の発掘調査 東山道武蔵路の遺構を発見 美好町三丁目
NOTE 押立村の新田開発にみる登用前の川崎平右衛門
series みち～道・路・通～

石澤茉莉子
佐藤ななみ
花木 知子

(4) 田んぼの畦道活用法

荒 一郎

(5) 生きものの行き来の道

中村 武史

近代プラネタリウム誕生100周年！ プラネタリウムについて知ろう！

(4) 当館プラネタリウムの歴史

塚田小扶里

◆郷土あれこれ 五日市郷土館

〒190-0164あきる野市五日市920-1 TEL042-596-4069 1996年創刊

◇34 2023.3 A4 4p

鹿児島に渡った多摩の武士一武蔵小川氏の場合

渋谷 芳浩

◆儀礼文化ニュース 儀礼文化学会

〒160-0012新宿区南元町13-7 TEL03-3355-4188 <http://www.girei.jp>

◇233 2024.3 A4 8p

催事スケッチ 福岡県京都郡荊田町 等覚寺の松会

はらはらと舞う御幣は豊作への祈り

写真と文・久保田裕道

儀礼文化学会定期大会 6月23日(開催)

催しは四條流包丁儀式 式題「龍門之鯉」

入口 修三

儀礼文化を語る

儀礼文化講座(第6回) 書道

「世尊寺家の入木道故実」 國學院大學准教授 橋本貴朗

儀礼文化講座(第7回) 古典芸能 「『桜』でつなぐ古典芸能の世界」

東京文化財研究所無形文化財研修室長 前原恵美

レポート 儀礼文化セミナー(第5回) 茶道 「綺羅さびの茶道一炉

開き点法」 遠州茶道宗家十三世家元 小堀宗実

塩澤以知子

第32回関西支部秋季学術大会開催される 松尾大社(京都府)

栗田恵津子

ミュージアム探訪 東京国立博物館 建立九〇〇年特別展

中尊寺金色堂展

栗田恵津子

◆現在学研究 現代学研究会

〒146-0091大田区鵜の木2-33-81 2018年創刊

◇13 2024.3 A5 84p

人との繋がりの変化 センイルカフェから“個”を考える	倉石 美都
アイドルとファンの「見る／見られる」関係の現状 TOKYO IDOL	
FESTIVAL におけるファンの実態を中心に	クリステ・ユスティナ
溝の口駅前のおけいこ	真保 元
西の市と都市の季節感	高久 舞
“郷土”研究から“現在”学へ 地に根ざした倉石民俗学	佐野 賢治
倉石忠彦の精神と哲理 「都市民俗学」に聖心の学を認め継ぐ	和崎 春日

◆交通史研究 交通史学会（発売：吉川弘文館）

〒992-0025山形県米沢市通町6-15-1 山形県立米沢女子短期大学日本史学科

原淳一郎研究室気付 1976年創刊 <https://www.kotsushi.org>

◇104 2024.3 A5 126p 2500円

琵琶湖の艀舟	杉江 進
幕末期、若き国学者の秩父紀行一渡辺真楫と『秩父日記』	関 廣好
新出の織田信長禁制写一石清水八幡宮神領境内都市と淀川交通	鍛代 敏雄
奥州(日光)道における宿駅起立年代雑考	
一字都宮以南、杉戸宿近隣宿駅を中心として	小沼 幸雄
越中富山の「駅」の変遷一富山市郷土博物館特別展「富山駅一二三年	
一街の玄関口から中心へー」展示紹介	横山 恭子
2023年度第1回例会報告	常任委員会(文責・井田泰人)
地域経済活性化における鉄道の役割の再考	
一谷汲鉄道敷設をめぐる	関谷 次博
高度経済成長期の水害復旧と旧軽便鉄道廃止	
一四日市市における近鉄八王子線一部廃止をめぐる	三木 理史
2023年度第2回例会報告	常任委員会(文責・井田泰人)
一九五〇年代以降の京成電鉄の経営発展と川崎千春	松本 和明
TEE 二・〇構想のその後	青木 眞美
2023年度第3回例会報告	常任委員会(文責・寺門雄一)
江戸川区「割菱八行講先達秋元米作手記」からみる戦後の富士登拝	
	山脇 智佳
山脇千佳氏発表へのコメント	千原 鴻志
展覧会情報	
常任委員会報告	常任委員会(文責・原淳一郎)

◆しいのき 中野区立歴史民俗資料館だより

〒165-0022中野区江古田4-3-4 TEL03-3319-9221 1990年創刊

◇73 2023.10 A4 4p

三度の別離を経て

- 表紙：矯正研修所跡地の旧豊多摩監獄表門（2023年8月撮影） 佐藤 加奈
文化財ももやま話―青梅街道の醸造業と石臼塚 （北河）
大地に眠る歴史 近現代の遺構の調査 （比留間）
古文書つづり 鯰絵―ちょっと風変わりな災害の記録 （一戸）
中野往来 新道 沼栄橋 開設記念碑 （榎木）
事業報告 各種事業経過、埋蔵文化財対応、寄贈資料一覧

◆城郭だより 日本城郭史学会会報

〒174-8691板橋区板橋北郵便局私書箱50号 TEL03-3967-1948
年6000円 1993年創刊

◇125 2024.4 A4 6

広島県で新たに発見された古代山城―茨城・常城・長者山城跡 向井 一雄
最近の城郭ニュースから

光秀の坂本城外堀か？／安土城跡 発掘調査成果報告会より
各地の城郭研究会の活動から

日本古城友の会、和歌山城郭調査研究会、戦国と城を学ぶ会
日本城郭史学会活動から 一月見学会 常陸笠間城見学会、二月見学
会 伊豆山中城見学会
最近の注目される城郭関係図書から 西ヶ谷恭弘監修『日本の城年表』

◆常民文化 成城大学常民文化研究会

〒157-0066世田谷区成城6-1-20 TEL03-3482-1181 1977年創刊

◇47 2024.3 A5 208p

曖昧な境界でつながる「ミックス」の名乗り

- ―マイノリティ・コミュニティの形成と家族的類似性 荒木 生
街のイメージの変容―溝の口駅前再開発を中心に 真保 元
灯籠流しの変遷―鶴見区仏教婦人会主催の盆供養に着目して 岡田 梨花
『柳営譜略』を捉え直す―史料の主観と認識を汲み取る 中澤志帆子
川崎市立日本民家園所蔵伊藤家文書「種苗日記帳」
―翻刻と若干の考察をもとに 真保 元
〈香る湯〉一年中行事にみる菖蒲湯と柚子湯 正月谷眞子
『広橋兼胤公武御用日記』から見る公啓法親王の相続事情
―宮門跡秩序に同調する輪王寺宮 松木 大輝

◆西郊民俗 西郊民俗談話会

〒112-0005文京区水道2-3-15-403 小池淳一方 年2000円 1957年創刊

<https://seikouminzoku.net>

◇266 2024.3 B5 23p

柑橘栽培の拡大と課題(1)―農業従事者のライフヒストリーから 園田 美雪
文殊菩薩信仰の諸相―安倍の文殊院及び野原の文殊寺 松崎 憲三
アイヌ口承テキスト「カニに手足が生えるわけ」にみられる裏返し構
造―中川裕が採録した白沢ナベの資料より 大喜多紀明
牛頭天王の図像について 下平 武

◆世田谷区誌研究会会報

〒158-0094世田谷区玉川3-30-5 野岸敏雄方 年2000円

<https://setagaya-kushiken.jimdofree.com>

◇2024-3 2024.3 A4 4p

「せたかい」未発行のお詫び／2月の活動報告 2月8日「現代に生き
る富士講について」神道扶桑教官長 宍野史和氏、2月15日「徳川
家光と反骨の禅僧 沢庵宗彭」講師 柘植信行氏
世田谷の民話(63) 茶屋坂で喜多見と足利の殿様ご対面／成城地区の
坂 作者・桜井正信／絵・柳原雅子
世田谷の民話(64) 三角橋の蛇様 お宮にお引越し
作者・桜井正信／絵・柳原雅子

◇2024-4 2024.4 A4 6p

世田谷の民話(65) 等々力村の娘 殿様の嫁入りお断り
作者・桜井正信／絵・柳原雅子
世田谷の民話(66) 代官様と吾助で松陰先生の魂を鎮める
作者・桜井正信／絵・柳原雅子

◆世田谷区立郷土資料館だより

〒154-0017世田谷区世田谷1-29-18 TEL03-3429-4237 1983年創刊

<https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/kusei/012/011/002/d00138265.html>

◇78 2023.10 B5 8p

令和5年度特別展「館藏品でみる宗教美術の造形―仏教美術を中心に」
鈴木 泉
展示品紹介 板碑 鈴木 泉
体験コーナー紹介
石器に使われる石材 前田 知寿

土器ドキパズル	前田 知寿
古文書を読んでみよう	角和 裕子
昔の教科書	小林 信夫
事業報告	
夏休みワークショップ「絵巻物をつくろう！」	松本 知佳
博物館実習	松浦 瑛士
ギャラリートーク「重要文化財保存処理完了記念 野毛大塚古墳展」	前田 知寿

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会

〒157-0061世田谷区北烏山2-3-9-101 光田憲雄 TEL03-3307-2146

<https://daidougei.seesaa.net>

◇号外 2024.3 A4 2p 100円

江戸の物売りと大道芸 本日(3月3日＝日)開演 深川江戸資料館火の見櫓下 演目：季節の物売り／日常にきた物売り（アサリ売り、魚売り、かりんと売り、鑄掛け屋、野菜売りなど）／大道芸（生きている生首、玉すだれ）

お正月風習「宝船売り」宝船の囃

◇388 2024.3 A4 2p 100円

江戸の物売りと大道芸 盛況裡に終了
浪花風俗 夜商人

◆多摩地域史研究会会報

〒207-0033東大和市芋窪4-1735-1-103 梶原方 1991年創刊

FAX042-563-2896 <http://tamatiken.web.fc2.com>

◇159 2024.4 B5 8p

第118回例会報告 多摩の中世城館を歩く 小沢天神山城	西股 総生
第118回例会参加記	田中 雄大
新刊紹介 外池昇著『神武天皇の歴史学』（講談社選書メチエ）／『昭島近代史調査報告X 小河内ダムまの移住者たち—昭島がなぜ最多か』	梶原 勝

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団

〒186-8686国立市中1-9-52 TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊

<https://www.tamashin.or.jp>

◇193 2024.2 A5 104p

《特集 多摩の作家と人間像》

三鷹に集いし、太宰治の弟子たち

—「弟子が残した太宰治」一読のススメ

吉永 麻美

山本有三 作家以外の活動について

三浦 穂高

武者小路実篤の二面

石井めぐみ

土岐善麿—その人間像 多摩地域の歌を中心に

藤井真理子

「吉野村だより」に吉川英治の人となり地域貢献を想う

—令和五年新春展示吉野村だよりから

伊藤 博司

生誕一〇〇年 現代に生きる遠藤周作のメッセージ

神林由貴子

現代作家が描く多摩の風景—事実と虚構の間

矢野 勝巳

本特集で取り上げた文学館 利用案内

洋風建築への誘い(82) 玉川上水の流れ・橋・建物(7)

伊藤 龍也

建物雑想記(77) みんなの古民家・鶴川能ヶ谷

酒井 哲

古文書は語る(68) 大久保長安の宗教拠点への対応と施策

—高尾山薬王院文書「大久保長安書状」より

馬場 憲一

多摩の金融史(26)

『三鷹商工名鑑一九七七』とそこから見える地域金融

佐藤 政則

多摩の歴史を立体視！一赤色立体地図の風景(20)

武蔵野台地南端の中世城館

野口 淳

本の紹介

くにたち郷土文化館編『円形公園はじまり物語』

田崎 宣義

青梅市立第七小学校創立百五十周年記念事業実行委員会編『宿谷家

日記 翻刻版・解説版』

三好ゆき江

◆調布市郷土博物館だより

〒182-0026調布市小島町3-26-2 TEL042-481-7656 1978年創刊

◇85 2024.3 A4 8p

市内在住の画家・中川平一さんから作品をいただきました！

小森 真衣

企画展「中川平一作品展 風景画でたどる調布のいまむかし」開催報

告 令和5年7月1日～9月18日 1階企画展示室／Youtube動画「調

布今昔写真館—中川平一さんの風景画と古写真でたどる調布—」公

開

小森 真衣

中川平一油彩画《菜の花のある風景》の寄贈を受けました

芝崎由利子

中川平一作品一七二点をデータベースで公開しました

田部井涼生

企画展「発掘された染地遺跡—多摩川低地のムラー」開催報告

矢本 夏子

北部公民館共催事業～佐須の盆行事を題材として

佐山 淳史

深大寺水車館の水車修繕

佐山 淳史

令和六年十一月に開館五十周年を迎えます

令和4年度事業報告 展示活動／教育普及活動

◆日本民俗音楽学会会報

〒252-0383相模原市南区文京2-1-1 相模女子大学学芸学部 岡部芳広研究室

気付 <http://www.s-jfm.org>

◇60 2024.3 B5 20p

巻頭言 高低アクセントと地域文化

岩井 正浩

第36回東京大会報告

長崎獅子舞との出会いと発見から

金城 厚

基調講演 長崎獅子舞と『民俗音楽の底力』

伊野 義博

シンポジウム

伝統芸能の存続

喜多山哲延

長崎獅子舞保存の現状と課題

伊藤 暢直

学校教育、社会教育と民俗芸能連携の長崎獅子舞

馮 陳玥兒

若い演じ手たちの笑顔をこれからに生かすために

加藤富美子

民俗芸能公演 長崎獅子舞

川見 夕貴

発表余話

マレーシア華僑獅子舞の余談

馮 陳玥兒

14年ぶりの研究発表

福田 裕美

はじめての発表を終えて

鳥井 貴仁

発表を終えて

川内 由子

子どもの未来、民俗芸能の未来に向けて

石塚 真子

大会参加記

学校教育と民俗芸能をつなぐ

山崎 純子

久しぶりに大会に参加して

長谷川真澄

カメラリポート

第37回出雲大会の予告—ご予約ください

会員の広場

屋久島での民俗調査：フィールドワーク奨学金による研究紹介

荒木 真歩

フィールドワーク奨学金の使い道：若手研究者と笛奏者

古澤 瑞希

2023年度 日本民俗音楽学会総会報告

岡部 芳広

理事会報告

「小島美子・藤井知昭基金」運営委員会から

岡部 芳広

常置委員会からのお知らせ

機関誌編集委員会
調査・研究委員会
行事企画委員会
会報編集委員会

上西 律子
北見真智子
伊野 義博
権藤 敦子

◆花時計 文京ふるさと歴史館友の会だより増刊号

〒113-0033文京区本郷4-9-29 文京ふるさと歴史館内 TEL03-3818-7221
年1500円 <https://www.city.bunkyo.lg.jp/rekishikan/>

◇31 2023.6 A4 2p

一葉あれこれ

中嶋 正文

幼少期の弓町・本郷元町

舟山 憲一

◆東村山ふるさと歴史館だより

〒189-0021東村山市諏訪町1-6-3 TEL042-396-3800 1997年創刊

◇74 2023.6 A4 4p

特集 東村山の災害と防災への取り組みの歴史

(小川)

むらやま茶屋 消防組の半纏

(大藪)

◇75 2023.11 A4 4p

特集 信仰の旅と絵馬

(今村)

むらやま茶屋 祝新秋津駅開業50周年

(松崎)

◆府中市郷土の森博物館紀要

〒183-0026府中市南町6-32 TEL042-368-7921 1988年創刊

<http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/>

◇37 2024.3 A4 27+60p 500円

府中市と学校法人明星学苑

一明星実務学校の府中町への立地1923年(大正12)

高島 秀樹

銘文のない武蔵型板碑(覚書き)

深澤 靖幸

資料紹介 府中市郷土の森博物館所蔵の「応永十九年」銘鰐口

深澤 靖幸

府中周辺における天保飢饉と救恤

花木 知子

資料紹介 屋根裏のお札群(3)

一小野宮 内藤治右衛門家発見資料より

佐藤 智敬

「府中町考古館」に関する一考察

石澤茉莉子

◆文京ふるさと歴史館だより

〒113-0033文京区本郷4-9-29 TEL03-3818-7221

<https://www.city.bunkyo.lg.jp/rekishikan/>

◇30 2023.6 A4 8p

表紙 絵はがき「(新大東京名所)機上ヨリ見タル聖橋及ニコライ堂附近」

寺子屋、藩校、昌平黉一学び舎の歴史、江戸から東京へ
収蔵庫と天気
卒業写真に写る人たち

加藤 元信
齊藤 智美
加藤 芳典

◆民俗音楽研究 日本民俗音楽学会

〒252-0383相模原市南区文京2-1-1 相模女子大学学芸学部 岡部芳広研究室
気付 <http://www.s-jfm.org>

◇49 2024.3 B5 64p

阿波踊り「ぞめき囃子」の三味線奏法の伝承について

一学生連を中心に

川内 由子

笛の「あそび」の幅、「あそび」の幅ある継承

一岐阜県郡上市八幡町岸劔神社大神楽の事例から

黒田 清子

〈第36回大会報告「学校教育・社会教育と民俗芸能」(2023 東京)〉

基調講演 民俗芸能と学校・社会—多様な場・モノ・コトをつなげる

伊野 義博

シンポジウム 学校教育・社会教育と民俗芸能

司会・金城厚／シンポジスト 長崎獅子舞連会長

喜多山哲延・豊島区教育委員会文化財係 伊藤

暢直・馮陳玥兒／コメンテーター 加藤富美子

研究発表 要旨と質疑応答(司会 黒田清子・山本真弓)

日本のマレーシアにおける華僑学校の獅子舞 馮陳玥兒(文責・黒田清子)

民俗芸能の伝承と社会包摂～政策における位置付けの変遷から

福田裕美(文責・黒田清子)

近代化以降の日本のリズムと身体を義務教育から読み解く

鳥井貴仁(文責・山本真弓)

研究発表 要旨と質疑応答(司会 福岡生太・松本晴子)

東京高円寺阿波おどりの「ぞめき獅子」にみる三味線奏法の伝承

川内由子(文責・福岡生太)

子どもの未来、民俗芸能の未来を見据えた音楽教育実践について

石塚真子(文責・松本晴子)

第36回大会報告 民俗芸能公演 長崎獅子舞

公演・長崎獅子連／解説・川見夕貴

◆昔話伝説研究 昔話伝説研究会

〒024-0051岩手県北上市相去町旧館沢43-6 花部英雄方 1971年創刊

<https://mukaden.amebaownd.com>

◇43 2024.3 A5 182p

特別寄稿 山津波と伝説―蕪生の山崩れはどう語られたか 常光 徹

特集 輪読『日本の民話』

未来社『日本の民話』を読む 解説 関根 綾子

未来社と民話―〈日本の民話〉シリーズ刊行をめぐって 伊藤 慎吾

根津富夫編『埼玉の民話』―『埼玉の民話』を読む 和久津安史

岸なみ編『伊豆の民話』―児童文学翻訳家の編んだ民話集 伊藤 龍平

『信濃の民話』編集委員会編『信濃の民話』

―松谷みよ子の再話手法を中心に 立石 展大

土屋北彦編『大分の民話 第一集・第二集』―地元の民話を愛して 関根 綾子

下野敏見編『種子島篇』―原話に忠実な再話とは何か 中村とも子

下野敏見編『屋久島の民話』―資料として扱う可能性について 中村とも子

根岸鎮衛著『耳囊』を読む―巻之一―「有徳院様御鷹野先の事 附

羅漢寺五請殊勝の事」について 清野 知子

資料 説経の用語と語り口―古説経における言語の表象 後編 内藤 久義

新刊紹介 兵藤裕己編注『説経節 俊徳丸・小栗判官 他三篇』

、小熊誠著『沖繩における門中の歴史民俗学的研究』 内藤 久義

昔話伝説研究会 活動報告

◆武蔵野ふるさと歴史館だより

〒180-0022武蔵野市境5-15-5 TEL0422-53-1811 2018年創刊

https://www.city.musashino.lg.jp/heiwa_bunka_sports/furusatorekishikan/

◇11 2023.9 A4 16p

新登録の文化財 吉野家の大ケヤキ・伊藤家の大ツバキ 紺野 京

成蹊学園取得地(吉祥寺)の開発経緯

―成蹊学園取得前(明治43年(1910)～大正8年(1919)) 玄田 悠大

村の稗穀・溜雑穀保管について 米崎 清実

幕末維新期の関前村村入用について 勝沼 宏美

収蔵資料紹介(10) 東京大震災明細地図 高野 弘之

神奈川県

◆開港のひろば 横浜開港資料館

〒231-0021横浜市中区日本大通3 TEL045-201-2100 1957年創刊

<http://www.kaikou.city.yokohama.jp>

◇155 2023.10 A4 8p

特集 関東大震災100年

古き横浜の壊滅—O.M.プール旧蔵資料より

青木 祐介

横浜連合婦人会による罹災者救護活動

西村 健

ミニ展示「関東大震災を伝える 通信社配信の災害写真」

吉田 律人

トピック 横浜開港資料館 PORTER'S LODGE オープン／館蔵ステ

レオ写真を復刻しました

羽毛田智幸

閲覧室より 古文書(こもんじょ)とは？／古文書の閲覧請求と取扱い

／浜田家文書が語る幕末の横浜

神谷 大介



*1923年9月1日に発生した関東大震災で、横浜では3万5千棟余の家屋が倒壊・焼失し、2万6千人を超える死者・行方不明者が出た。それからから100年を迎え、被災地では様々な催しが行われた。横浜開港資料館も8月から12月まで横浜都市発展記念館との合同特別展「関東大震災100年 大災害を生き抜いて—横浜市民の被災体験」を開催した。併せて、関連企画のミニ展示で、「古き横浜の壊滅O.M.プール旧蔵資料より」や「丹沢地震100年」、さらに、『関東大震災100年 関東大地震と横浜—廃墟から復興まで』の刊行と精力的に取り組んだ。

青木祐介「古き横浜の壊滅—O.M.プール旧蔵資料より」は、イギリス系貿易商社ドッドウェル商会日本総支配人で被災体験記『古き横浜の壊滅』(有隣堂1976)を残したアメリカ人オーティス・マンチェスター・プールの人物像と、プールが撮影した震災直後の貴重な写真を紹介する。プールの旧蔵資料は2005年に

遺族から開港資料館に寄贈され、関東大震災90年の2013年に開催した企画展「被災者が語る関東大震災」で展示された。

西村健「関東大震災後の横浜連合婦人会による罹災者救護活動」は、終戦前に、横浜連合婦人会が作成したと思われる、大正期から戦前にかけての婦人会活動を記録した『婦人会館史』（本冊、別冊）から、震災後における婦人団体の活動を紹介する。横浜連合婦人会は、関東大震災を機に結成されたもので、同資料は、横浜連合婦人会館の流れをくむ（公財）横浜市男女共同参画推進協議会・男女共同参画センター横浜南（フォーラム南太田）で2019年に発見され、この度、開港資料館に移管された。デジタル化されまもなく公開予定とのこと。大いに活用が期待される。

吉田律人「関東大震災を伝える 通信社配信の災害写真」は、災害写真を事例に、情報伝播の過程を検証したもので、誤った説明が加えられた場合もあったという。開港資料館には多くの資料が眠っており、さらに写真の体系化を進めていきたいとしている。

◆かまくら女性史の会 Newsletter

〒248-0012鎌倉市御成町18-10 NPOセンター鎌倉気付 メールボックス26
2013年創刊 <https://kanagawajoseishi.jimdofree.com>

◇114 2024.3 A4 2p

かまくらの保育Ⅲ～戦後10年間～ 前号の続き

富士愛育園／来迎寺幼稚園／モンタナ幼稚園／大船カトリック幼稚園
園／鎌倉いずみ幼稚園／みちる幼稚園

（高階）

シリーズ：私たちの「戦争体験」(38)

武藤育子さんの戦争体験(1)

聞き書き・前田セツ

図書紹介 『災害支援に女性の視点を！』

（竹信三恵子・赤西千衣子編、岩波ブックレット、2012年）

（多和田）

訃報 折井美耶子さん

◇115 2024.4 A4 2p

「サバティカル休暇」について

多和田真理子

シリーズ：私たちの「戦争体験」(39)

武藤育子さんの戦争体験(2) 聞き書き：前田セツ

『関東大震災 被災者支援に動いた女たちの軌跡』浅野富美枝著

生活思想社 2023.12.刊

（曾原）

◆コロス 常民文化研究会

〒254-0016平塚市東八幡2-8-20 西海賢二方 年1000円 1979年創刊

◇177 2024.5 B5 6p

石鎚講中参拝紀念録に世相を読む(2)

—安芸国忠海二窓西山講中の二百六十年に寄せて

西海 賢二

◆自然と文化 平塚市博物館研究報告

〒254-0041平塚市浅間町12-41 TEL0463-33-5111 1977年創刊

<https://hirahaku.jp>

◇47 2024.3 A4 82p

2023年の流星文化会の活動報告

藤井大地／天体観測会 流星分科会

2023年の太陽黒点

鷹宏道／塩田和生／岡澤智

平塚海岸の海浜植物の分布(2023年)

松本典子／恒川礼子／三輪徳子

湘南地域における野外観察に基づく地球科学分野の探究学習

—第22回地震火山地質こどもサマースクール in 平塚の例

野崎 篤

米軍コロネット作戦に対する第53軍の本土防衛

—終戦時における二宮地区の部隊配置

市原 誠

史料紹介

昭和初期における神奈川県中郡金目村広川の一養蚕農家の記録

添田 吉則

◆民具マンスリー 神奈川大学日本常民文化研究所

〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TEL045-481-5661 年3500円

1968年創刊 <http://jominken.kanagawa-u.ac.jp>

◇672 (56-12) 2024.3 A5 24p 350円

地域文化の最後の砦として

—民具存亡の「第二の危機」に民俗資料館はどうする

神野 善治

葉屋看板考—南千住の飯塚薬局旧蔵「看板広告送出扣」から

亀川 泰照

民具短信 スズ・シアター・ミュージアム「光の方舟」にみる民具の

新たな展示・活用方法

兼城 糸絵

第56巻総目次

日本常民文化研究所 2023年度活動報告より

(能登半島地震お見舞い)

文責・兼城糸絵／写真提供・川村清志

新 潟 県

◆観 賞 新潟文化財観賞会

〒950-0852新潟市東区石山3-12-19 斎藤寿一郎方 TEL025-286-1740 年4000円

◇45 2024.2 A5 138p

本間恂一前会長追悼

前会長本間恂一先生の逝去を悼む	斎藤寿一郎
本間恂一先生を偲び、地域の歴史編さんへの努力に心から敬意を表 します	中村 義隆
本間先生が伝えたかったこと	洪川 綾子
最近思ったこと—裏日本論（『観賞』第五号再録）	本間 恂一
本間恂一先生略年譜・業績	事務局
沼垂の画家 長井雲坪の生家	中村 里那
続編孝義録料を読む(3)—記載様式等の多様性	後藤 一雄
新潟府通弁 木村道之助敬弘の生涯	杉山 節子
新潟県木崎村小作争議一〇〇周年	阿部 紀夫
昭和一六年三月師範学校を卒業した人々 —『私たちの戦中期』の紹介をかねて	山上 卓夫
特集 新潟文化財観賞会と古町花街の会との共同企画	
伝統文化の回路～地域から見た花街文化	知本 康悟
講演と対談の昼下がり 伝統文化を未来へ 第一部講演 新潟にお ける市山流 講師・市山七十郎／第二部対談 楽と華—地域から 見た花街文化 市山七十郎・伊野義博・司会 久保有朋	
令和五年文化財観賞研修旅行について	
春季研修旅行 館と庭園を巡る研修	
「中原邸(西区)」と「沢将監の館(西蒲区)」を訪ねて	唐沢 哲也
秋季研修旅行 新発田の文化財再発見の旅	永井 裕美
当会で用いている「シンボルマーク」解説 斗棋(組物)について	小塚 信
表紙解説 県指定文化財 考古資料 鼈竜鏡 東京国立博物館所蔵	

◆高志路 新潟県民俗学会

〒950-0916新潟市中央区米山3-1-31-1101 金田文男方 TEL025-241-9402

1935年創刊 <https://fsnp.mints.ne.jp>

◇431 2024.3 A5 60p

日蓮宗不受不施派生智院日述上人のこと	大竹 信雄
会津と越後に残る高倉宮以仁王伝記(上)	小澤 弘道
三平池の大亀伝説—上山喜重郎の七言絶句を中心にして	岩野 笙子
報告	
新潟の民話 語り活動	青柳 保子
雷の口承文芸など	金田 文男
小報告	

南魚沼市大崎地区の「ものもう・どうれい」—法印の年始まわり	佐藤 隆彦
判官の舟かくし	堀内 正子
見学会報告 安田・笹神両地区見学会の記	佐藤 和彦
表紙写真 津南町陣場下多聞天春祭り	金田 文男
質問 動く「三度栗」「つなぎカヤ」について	金田 文男

◆新潟史学 新潟史学会

〒950-2102新潟市西区五十嵐二の町8050 新潟大学人文学部史学研究室内

Tel.025-262-6542 1968年創刊

◇86 2024.2 A5 88p 1000円

上杉景勝の「佐渡攻め」と本間氏	田中 聡
一九三〇年代の選挙粛正運動と政党政治	
一立憲民政党新潟県支部西蒲原郡部を中心に	渡邊 一輝
ドイツ所在史料から見た新潟開港	青柳 正俊
動向 考古学・埋蔵文化財行政と高校教育の連携について	竹田 和夫
書評 石原佳樹著『四日市港ができるまで—四日市港の父・稲葉三右衛門と修築事業』	堀 健彦
第72回新潟史学会研究大会・総会記事	
2022年度卒業論文・修士論文題目	

◆良寛だより 全国良寛会会報

〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文化博物館新潟分館内

Tel.025-222-2262 1978年創刊

◇184 2024.4 A4 16p

「春日」田中以知庵・画（出雲崎町・良寛記念館蔵）	
リレーエッセイ 良寛つれづれ(33) 越後の春の思う	安達 武男
良寛遺墨鑑賞(32) 「愛語」	小島 正芳
良寛が柳津を訪ねたのはいつか	本間 明
良寛さんの養生法(下)	櫻井 浩治
カナダケベック州で書道講座—良寛さまの書 一箇の繡鞠	寺本 小鳳
米国の映道禅師からのメッセージ	後藤田恵子
相馬御風の良寛(32)—教科書に載った良寛の歌	金子善八郎
良寛 手鞠 鞠子の詩歌	吉田 福恵
良寛を今に伝えた人びと(13) 蔵雲	本間 明
私の好きな良寛さん 長歌「月の兎」	小黒 知也
トピックス	

ねがいをこめて紡いでおります！会員向けの便り「てまりの糸」	立花 純子
加藤喜一氏が「良寛の勉強会」開講	
新刊紹介 小島正芳会長の畢生の名著、完成！ 良寛の生涯と芸術	柳本 雄司
会報紹介	吉井 清一
良寛を訪ねて(33) 阿部定珍への手紙(上)「病」	吉井 清一

富 山 県

◆富山史壇 越中史談会

〒930-0115富山市茶屋町33-2 富山県公文書館内 TEL076-434-4050

1954年創刊 <https://shidankai.web.fc2.com>

◇203 2024.3 A5 86p 1300円

立山信仰登山集落と地域社会

一近世後期の立山山麓における「観光地」形成をめぐる	高野 靖彦
明治・大正期の富山県における治水費の財源対策	
一初代県令国重正文が提起した根本的課題	松島 吉信
立山町芦峯寺布橋周辺の江戸初期石垣について	古川 知明
研究余滴 明治前期、越中人の朝鮮漂流二件	浦田 正吉
特別講演会要旨 書物・出版はいかに社会・人を変えてきたのか	若尾 政希
新刊紹介	
萩原大輔編著『佐々成政』（シリーズ・織豊大名の研究11）	鎌田 康平
城岡朋洋著『越中史の探求』	米原 寛
最近の地方史情報	高森 邦男

◆とやま民俗 富山民俗の会

〒930-0881富山市安養坊56甲-1 富山市民俗資料館内 年4000円

1974年創刊

◇101 2024.2 B5変型 22p

消えゆく技術と文化 野鳥の捕獲技術を例に	清水 海渡
「五箇山籠の渡し」から現代へ	山崎 英信
足利義材の天神信仰	松山 充宏
明治期の戸籍記載一富山県砺波郡天神村の場合	加藤 享子
雑感 富山市梅沢町の寺院群と寺町に暮らし感じること	尾川 裕樹
佐伯先生の「誤解」を訂正させていただきます。	安ヶ川恵子

◆北陸石仏の会会報

〒939-1315 砺波市太田1770 尾田武雄方 TEL0763-32-2772

年3000円 1993年創刊 <http://odatakeo.wp.xdomain.jp>

◇72 2024.4 A4 8p

石造物の移転 岩木新の金毘羅大権現

平井 一雄

砺波地方の六観音

滝本やすし

江戸時代の井波石工

尾田 武雄

令和六年能登半島地震による石仏等の被害

滝本やすし

石 川 県

◆日本学研究 金沢工業大学日本学研究所

〒921-8501 石川郡野々市町扇が丘7-1 TEL076-248-1100 1998年創刊

◇26 2023.12 A5 372p

谷秦山の胸懷と「日本学」—浅見綱斎との「論争」をめぐる

大貫 大樹

豊宮崎文庫と籍中について(2)

平泉 紀房

史 料

翻刻『白山妙理大権現縁起』

平泉 隆房

津軽版『中朝事実』(訓読文)

秋山 一寒

熱田神宮編年史料(稿本) 中世十八

藤本 元啓

山 梨 県

◆地域と社会 佐藤弘

〒402-0005 都留市四日市場902-3 2017年創刊

◇14 2023.12 B5 18p

明治10年代における絹織物業の全国的動向

佐藤 弘

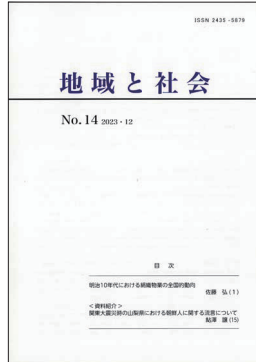
資料紹介

関東大震災時の山梨県における朝鮮人に関する流言について

鮎澤 譲

*鮎澤譲「関東大震災時の山梨県における朝鮮人に関する流言について」は、関東大震災において、東京や横浜などで流された朝鮮人による暴行、放火等のデマが、山梨県に伝わった経過と県内の動向を、当時の『山梨日日新聞』をはじめ、『朝鮮人強制連行調査の記録 関東編1 神奈川・千葉・山梨』(柏書房)、『山梨県史』、『大月市史』、『都留市史』、『詩誌・樹』(都留詩友会)によって明らかにしたものである。

震災前後の県内在留朝鮮人数は、『山梨県統計書』で1922年に710名、内務省の



統計で1923年に328名であった。デマは早くも、震災当日の夜に東京に隣接する北都留郡上野原町に伝わり、「朝鮮人来襲すべしと伝えられ町民の非常招集を行って警戒するなど人心けうけうとして大騒ぎ」(『山梨日日新聞』1923年9月6日)となり、2日朝には朝鮮人を町内から追い出したという。

道志村では「二鮮人」を「二千人」の朝鮮人と聞き誤って、甲府から警備の応援部隊が駆けつけ、女性、子ども、老人が避難し、男子は総て第一線に立って死守するという悲壮な覚悟をした。中巨摩郡小笠原地方では旅行客が水筒を背にかけていたのを、朝鮮人がピストルを携帯しているの見誤り、村民は不安の念にかられた。後から考えれば笑い話のような事態から生じたものから、村民惨殺、爆弾投擲といったおぞましいデマ、東京からの避難民による風聞がまことしやかに流され、工事現場で就労中の朝鮮人が襲われかねない状態もあった。

しかし、新聞がそれらは虚報であり、「朝鮮人を敵視するな」との記事を載せ、警察もデマを飛ばした者を検挙するなどしたこともあって、幸いにも県内では朝鮮人虐殺は起こらなかった。

大変に考えさせられる資料紹介であった。

◆山梨県立考古博物館だより

〒400-1508甲府市下曾根町923 TEL055-266-3881 1983年創刊

<https://www.pref.yamanashi.jp/kouko-hak/>

◇96 2023.9 A4 8p

「発掘された日本列島2023」概要 「発掘された日本列島」展とは 約四半世紀ぶりの山梨開催！／「発掘された日本列島2023」展示内容
開館40周年記念特別展開催報告 開館40周年記念特別展「星降る中部高地の縄文世界―黒曜石ネットワークによる物流と人流―」／学芸員実習

館長講座・ミニコラム

ミニコラム 学芸員のオススメ 釣手土器(野沢コレクション) 柴田 亮平
オリジナル3Dプリント 土器・土偶編 Vol.2 1回500円 ショップ
のカプセルトイマシーンにて販売中!

表紙 深鉢 仁斗田貝塚/土偶 二月田貝塚/蛭藻金 騎西城跡・騎
西城武家屋敷跡/人物埴輪・馬形埴輪 下里見天神前遺跡/鳥形骨
器 史跡沼津貝塚/猪牙製垂飾 大久保貝塚/単鳳環頭大刀の柄頭
北大竹遺跡/均整唐草文軒平瓦 史跡由義寺跡

長野県

◆あなたと博物館 松本市立博物館ニュース

〒390-0874松本市大手3-2-21 TEL0263-32-0133 1984年創刊

<https://matsumoto-city-museum.jp>

◇246 2023.12 A4 8p

表紙 「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」日本浮世絵博物館所蔵

特集 松本市立博物館開館記念第2弾特別展「至極の大衆文化 浮世
絵—酒井コレクション—」

本間 花梨

特集 新松本市立博物館オープニングイベント報告

吉澤せり子

資料紹介

陸地測量部の歴史を刻んだ時計

小林 駿

戸田家の戦備—江戸田家臣関連資料

吉澤せり子

◆飯島陣屋だより 飯島町歴史民俗資料館

〒399-3702上伊那郡飯島町飯島2309-1 TEL0265-86-4212 1993年創刊

◇21 2024.3 A4 4p

未来を見据え進む道 飯島陣屋開館30周年を迎えました!

「陸軍登戸研究所」調査について 陸軍登戸研究所とは/登戸研究所
で使用された机から検出されたもの/第29回文化財めぐり【伊南地
区】/日方磐神社社務所に工場が疎開/まとめ—第30回文化財めぐ
り【明治大学平和教育登戸研究所資料館】—歴史的事実を語り継ぐ

◆飯田市美術博物館研究紀要

〒395-0034飯田市追手町2-655-7 TEL0265-22-8118 1990年創刊

<https://www.iida-museum.org>

◇34 2024.3 A4 136p

第二回全国児童自由画展覧会直後の竜丘小学校日誌の記録
資料紹介 三好『画家書簡』
飯伊地区における戦後の美術団体
東京田中家旧蔵の田中正芳関係資料について
飯田藩堀家江戸藩邸の基礎研究
伊那谷・木曽谷の異形石器—その時期と変遷

植村 洋介
小島 淳
手塚 俊尚
織田 顕行
青木 隆幸
加藤 大智

◆飯田市歴研ニュース 飯田市歴史研究所

〒395-0803飯田市鼎下山538 TEL0265-53-4670

<https://www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/>

◇129 2024.4 A4 4p

新刊案内 飯田下伊那地域史料現状記録調査報告書3『松下祐輔氏所蔵 不二道等関係文書』／ワークショップ 松下家文書で読む不二道・飯田

募集 市民研究員候補／歴史研究活動助成／飯田歴研賞2024候補作品

リレーミニエッセイ(34) 幻の歴史研究所移転計画

史料紹介 羽生三七文書

新刊紹介 飯田市歴史研究所年報②

樋口 貴彦
伊藤 悠

◆伊那路 上伊那郷土研究会

〒399-4117駒ヶ根市赤穂11193-7 吉田保晴方 年6000円

◇806 (68-3) 2024.3 A5 40p 600円

生誕200年記念 千両千両井月さんまつり 講演録「芭蕉と井月」(2) 小澤 實

犬神碑考(1)—飯島町域の犬神関係碑

共同研究ノート(2) 井月の俳句に新たな疑問

ますみヶ丘の成立と発展

史料紹介 上伊那郷平出村の「産物書上扣」(享保20年)

古文書の窓(175) 五人組の組替えを願う

文化短信 江戸期の「さんよりこより」を再現

図説・上伊那の民俗(78) 那木沢の獅子舞(伊那市高遠町山室那木沢)

徒然さんば(56) 天竜川 上伊那

伊藤 修
一ノ瀬武志
清水 満
三浦 孝美
小池 悟志
春日利比古
三石 稔
絵と文・吉田勝美

◆伊那民俗研究 柳田国男記念伊那民俗学研究所

〒395-0034飯田市追手町2-655-7 飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118

年3000円 1990年創刊 <https://inaminkenhome.blogspot.com>

◇31 2024.3 A5 233p

論文(2023年総会記念講演)

折口信夫・池田彌三郎と信・遠・三山間地域の研究
第6回伊那民俗研究集会「死・供養と風流芸能」特集

伊藤 好英

「死」をめぐる民俗思想と芸能

小川 直之

先祖意識と芸能—死の儀礼と音楽

笹本 正治

重要無形民俗文化財に見る盆踊りの諸相と意味

宮田 繁幸

南信州における盆行事と風流芸能

櫻井 弘人

遠山における盆踊り

近藤 大知

遠山下栗における自宅葬

中島 悦子

阿智村清内路の一村一墓制度

北原いずみ

南信州における葬儀業の変化

今井 啓

南信州における老いと福祉

岡庭 圭佑

西浦田楽における数と五万の原理

櫻井 弘人

「花祭の里」でフィールドワークをしていった人びと

—『夏目一平日記』(早川孝太郎関係抄)を中心に

伊藤 正英

外部の担い手と共に祭りを続ける地域の意想と選択

豊村由香理

伊那民俗学研究所 活動記録(2022.4～2023.3)

記録・松下清志

◆市誌研究ながの 長野市公文書館

〒380-0928長野市若里6-6-2 1994年創刊

<https://www.city.nagano.nagano.jp/kobunsho/menu/1/>

◇31 2024.3 A4 231p 1500円

はじめに

荻原 健次

巻頭グラビア

真田家伝来 浦賀紀行図 甲巻 第七場面「自西浦賀眺望」

(松代文化施設等管理事務所(真田家宝物館内) 溝辺いずみ)

戸隠竹細工の箕製作サンプル(長野市立博物館 樋口明里)

吉田のイチョウ「公孫樹外垣其他社々計図」

(長野市域の社寺建築史料⑥)(宮澤政太)

和算・測量家「武内度道・度径」作成の川絵図(山浦直人・小山丈夫)

没後30年・水上民平の画業(信州新町美術館 前澤朋美)

長野市の小池沼、河川の淡水微生物相Ⅲ(落合照雄)

令和5年度 長野市公文書館新収蔵資料より 関東大震災一〇〇年

①篠ノ井駅前の救護活動、②更級郡救護事務所前の首脳、③帝都
大震災画報

令和五年度長野市公文書館講演会 松代藩の「拾万石御百姓訴訟」(二

斗八騒動)を書きとめた「永々代記録」

講師・西澤安彦

篠ノ井遺跡群(高速道地点)の分析(古代) 上

鳥羽 英継

天正壬午の乱と旗塚―陣場は再び使われる

町田ゆかり

松代藩の「拾万石御百姓訴訟」(二斗八騒動)と善光寺

西澤 安彦

宝暦改革の道筋にあったもの―『家老日記』(宝暦五年～七年)『郡方日

記』(宝暦四年)の分析を中心に

小林 佳枝

近世村絵図の地図性について―絵師、計人の存在と絵図描写の特徴

山浦直人／小山丈夫

城山の城山館と蔵春閣

宮澤 政太

長野市公文書館における館外展示の可能性

竹内 久隆

長野市の小池沼、河川の淡水微生物相Ⅲ―湯福川、堀切沢の付着珪藻

類、そして茶臼山地すべり地の淡水微生物相

落合 照雄

史料紹介

剣術家白井亨の肖像画

北澤 忠雄

幕末期における真田幸民の八幡宮社参及び神主松田家訪問記録につ

いて―「慶応二年十月松代藩殿様拙宅江御入并御社参」の紹介 中島 丈晴

長野市公文書館収蔵資料紹介

医師の日記に見る関東大震災〈山本申三日記〉

田玉 徳明

公文書館から 令和五年度 新収蔵資料目録／長野市公文書館一年の

あゆみ／統計資料

◆信 濃 信濃史学会

〒399-0036松本市村井町南1-28-35 年10200円 TEL0263-58-1213

<http://www.shinano-shigakukai.jp>

◇890 (76-3) 2024.3 A5 80p 1150円

古代における山中への信仰空間の形成

―信濃国筑摩郡・安曇郡を中心に、観音信仰と関わって

原 明芳

満州事変は二度始まった(下)

鈴岡 潤一

長野県内の景観形成をめぐる近年の動向(2)

―県内四地域の取り組み事例を中心に

山口 通之

報告 第一〇八回セミナー「近世の林業史を考える」

山中さゆり

受贈図書紹介／雑誌関係要目

◆長 野 長野郷土史研究会

〒380-0834長野市問御所町1257-1 TEL070-4026-1252 年4000円 1964年創刊

<https://naganokyodoshi.wixsite.com/my-site/>

◇324 2024.4 A5 97p 1200円

《創刊60周年・北陸新幹線敦賀延伸記念号》

表紙 善光寺経蔵の前にある常夜灯／口絵 善光寺境内に残る越前敦

賀の善光寺講の足跡

写真撮影・長野郷土史研究会

『長野』創刊60周年を迎えて

小林 一郎

宮彫師 久保田為助(義為)―山崎儀作の弟子

草間 律

全国の絵解きから見た長野の絵解き

―絵解きの普及・継承に努めて30年

小林 玲子

柏原宿の六左衛門が記した一茶宛成美の書状

―伊勢国比豆知神社の狛犬

中村 敦子

北村喜代松が関わった横沢町の神楽屋台

草間 律

中勘助の「島守」

栢木 希望

北陸新幹線敦賀延伸

講演記録(3月9日 かるかや山西光寺)

京都に接する北陸・福井県と長野の文化的つながり

小林 一郎

長野駅と北陸3県を結んだ特急・急行列車

小林竜太郎

『長野』創刊号～第323号 目次―巻頭論文を中心に

出版 『学生が描いた伝統の大絵馬―令和4年 長野市水内大社御柱祭

行列図―』小林一郎・小林玲子著 長野郷土史研究会編集

小林玲子が行ってきた絵解き

◆長野県民俗の会通信

〒384-2104佐久市甲135 田澤直人方 TEL0267-88-6927 年5000円

<http://nagano-minzoku.chu.jp>

◇300 2024.3 B5 8p

通信三〇〇号の刊行を機に思うこと―民俗地図と八朔節供に事寄せて

松崎 憲三

松本の鳥居火再考(2)

小原 稔

「跡部の踊り念仏」ユネスコ無形文化遺産登録記念イベントに参加して

田澤 直人

第二三九回例会報告

(巻山記)

◆長野市公文書館便り

〒380-0801長野市箱清水1-3-8 長野市城山分室内 TEL026-232-8050

<https://www.city.nagano.nagano.jp/kobunsho/menu/1/>

◇53 2023.4 A4 2p

所蔵資料紹介 『地附山地滑り災害関連綴』（資料番号 市R4-253～257） 資料1「長野市地附山地すべり災害(水道施設)」、資料2「長野市地附山地すべり災害状況及び応急復旧対策」、資料3「地附山地滑り災害地域警戒体制配備計画表」、資料4「地附山地滑り災害地域に係る警戒体制について」

◇54 2023.7 A4 2p

長野市公文書館における文書の公開までの作業行程
古文書紹介 「古文書によく出てくる人名」

◇55 2023.10 A4 2p

教材向け資料紹介 寺社の制札が語る街道の賑わい
今年も職場体験学習を実施しました。

◇56 2024.1 A4 2p

令和5年度長野市公文書館講演会「松代藩の「拾万石御百姓訴訟」(二斗八騒動)を書きとめた「永々代記録」 西澤安彦氏(前長野市公文書館主任専門主事)
古文書紹介 「古文書によく出てくる表記」

◆松本市史研究 松本市文書館紀要

松本市総務部行政管理課松本市文書館

〒390-0837松本市鎌田2-8-25 TEL0263-28-5570 1991年創刊

<https://www.city.matsumoto.nagano.jp/soshiki/3/4312.html>

◇33 2023.3 A4 75p

私権の保護と民事手続法—加藤正治博士の著作から 石井 敬一
川島浪速と満蒙独立運動—辛亥革命期を中心に 木曾 寿紀
松本市文書館所蔵資料調査報告(1)
—岡田村役場文書群を中心として 古川 和拓
講座・企画展・施設連携と松本市文書館の在り方
—令和四年度の事業実践から考える 窪田 雅之
講座資料 令和4年度第7回文書館講座 パネディスカッション「市民にとっての博物館・図書館・文書館—松本市のMLA連携を考える—」
令和4年度事業報告(令和5年2月28日現在)

岐 阜 県

◆郷土研究岐阜 岐阜県郷土資料研究協議会

〒500-8368岐阜市宇佐4-2-1 岐阜県図書館内 TEL058-275-5111 年2800円

1973年創刊 <https://www.library.pref.gifu.lg.jp/library-information/related-organizations/kyoshiken/>

◇141 2024.3 B5 28p

文化財を育む地域のあり方を目指して

史跡江馬氏城館跡・名勝江馬氏館跡庭園

大下 永

飛騨美濃の洋画史観

旗江 泰孝

大永五年八月二日の「牧田合戦」について

―「浅井亮政の美濃侵攻」の実否を問う

宮野 宣康

大垣藩主戸田氏正の「飼鳥」

清水 進

書窓の風

岐阜 令和四年度の岐阜城発掘

内堀 信雄

西濃 伝わる・伝える 二冊

児玉 剛

美濃 白山に関する図書について

曾我 孝司

加茂 江戸時代の旅行ガイドブック『旅行用心集』を通して

栗谷本 真

東濃 多治見市「長福寺文書」

小嶋 泉

飛騨 飛騨市「姉小路氏城跡」国史跡指定へ

茂住 修史

郷土関係新刊書目録(125)

郷土関係逐次刊行物文献目録(123)

◆岐阜市歴史博物館だより

岐阜市歴史博物館 〒500-8003岐阜市大宮町2-18-1 岐阜公園内 TEL058-265-0010／加藤栄三・東一記念美術館 〒500-8003岐阜市大宮町1-46 TEL058-264-6410 1985年創刊

◇116 2024.2 A4 8p

岐阜市指定 短甲・頸鎧・肩鎧(龍門寺1号墳出土)

古墳時代中期 岐阜市歴史博物館蔵

企画展「ここまでわかった!岐阜の古墳」

加藤栄三・東一記念美術館「栄三・東一とゆかりの作家たち」

加藤栄三・東一記念美術館「生誕80周年 洋画家 奥村龍彦 回顧展」

企画展「ちょっと昔の道具たち」

館蔵資料紹介 目貫 這龍図 江戸時代 18世紀 長さ4.8cm 幅1.3cm

静岡県

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8526静岡市駿河区谷田52-1 静岡県立大学国際関係学部 森山優研究室
年4000円 <https://shizuokakenkindaishi.wordpress.com>

◇546 2024.3 A4 6p

3月例会レジュメⅠ 明治初期の翻訳小説の方法

一川島忠之助訳『新説 八十日間世界一周』を対象に(仮) 徳田 沙弥

3月例会レジュメⅡ 万延元年遣米使節に関する考察

一使節がもたらした洋書とその受容 米神奈都子

静岡藩士になった伊賀者たち

樋口 雄彦

◇547 2024.4 A4 4p

4月例会レジュメ 熱海会議について

齋藤 伸郎

富士山南面官有地(御料地)と農民の入会利用

一富士宮市史資料調査断想 橋本 誠一

◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区渋川1-9-35 <http://web.thn.jp/s-folklore/>

◇190 2024.2 A4 8p

祭りの伝承力について考える

中山 正典

令和5年度第2回例会のお知らせ

渡辺好洋氏『『絵馬』から見た合格祈願の諸相』

令和5年度第1回例会報告

(川口記)

秣山・共有地における循環型社会を考える

中山 正典

方言短信 マンタロウ 報告地 井川本村

報告・外立ますみ

博物館情報／受贈図書・刊行物紹介

◆沼津市歴史民俗資料館だより

〒410-0822沼津市下香貫島郷2802-1 沼津御用邸記念公園内 ☎055-932-6266
<https://www.city.numazu.shizuoka.jp/kurashi/shisetsu/rekishiminzoku/>

◇239 (48-2) 2023.9 A4 4p

狩野川改修計画平面図(部分) 昭和9年11月内務省横浜土木出張所発行

出雲から白隠さんの贈り物

高橋 敏

魚見のある風景(17) 西浦足保片瀬・小足保

愛 知 県

◆岩瀬文庫だより 西尾市岩瀬文庫

〒445-0847西尾市亀沢町480 TEL0563-56-2459 2004年創刊

<https://iwasebunko.jp>

◇79 2023.12 A4 4p

岩瀬文庫企画展「植物への恋文一本草書から牧野富太郎の手紙まで」

／次回予告 岩瀬文庫リニューアル20周年記念企画展「古典籍の博物館・西尾市岩瀬文庫のあゆみ」

資料紹介 「牧野富太郎書簡」名倉家(西尾市貝吹町)蔵 牧野富太郎から名倉閨一郎宛 明治32(1899)年3月28日

第4回岩瀬弥助記念書物文化賞 授賞式・記念講演会／第18回にしお本まつり 文芸コンクール入賞作品

国登録有形文化財 旧書庫・おもちゃ館保存活用へのあゆみ(3) フランス瓦

表紙の写真 『本草綱目』(42-24) 李時珍編 明版 43冊／表紙のカット 『本草図説』(45-11) より 海馬(タツノオトシゴ)・福寿草 高木春山著 嘉永5(1852)年 195冊

◆古城通信 城郭情報部

〒445-0072西尾市徳次町地蔵44-3 石川浩治方 TEL0563-65-9070

◇104 2024.2 B5 16p

表紙 盛岡城復元イメージ鳥瞰図

家康の城の特徴

石川 浩治

復元城郭最新情報(7)

石川 浩治

萩原三雄氏を悼む

石川 浩治

◆新編西尾市史だより

〒445-0847西尾市亀沢町480 西尾市岩瀬文庫内 西尾市教育委員会文化振興課 西尾市史編さん室 TEL0563-56-8711 2015年創刊

◇10 2024.2 A4 8p

西尾市でニホンカモシカラ初確認

金森 正臣

こちら近世部会です。 捨子の罪

池内 敏

こちら民俗部会です。

多様な民俗事象が確認できる西尾 その構成要素を探る

野本 欽也

市史編さんの現場から 片栗粉の意外な使用方法！

一料理以外にもこんな使い道が 井口 喜景
主な活動記録(令和5年4月～令和6年2月現在) 編さん委員会／編集委員会／近世部会／近現代部会／自然部会／美術工芸・建造物部会／民俗部会

◆まつり まつり同好会(発売:岩田書院)

〒458-0006名古屋市緑区細口3-161 田中青樹方 TEL052-877-3497
年5000円 1961年創刊

◇85 2024.3 A5 131p 2000円

口絵 田中義廣代表が見た 三信遠の祭り 撮影・故田中義廣
三遠地域の信仰と宗教者一守札の習俗と津島御師の史料から 小早川道子
シカウチ行事におけるシカの製作について

一愛知県三河地方の事例をもとに 天野 卓哉
火と月の明りで舞い祈る、国境の村の新年の「おまつり」

一遠州「西浦田楽」の半世紀前の記録から 米津 俊裕

表紙 西浦田楽 三番叟(撮影 故田中義廣 昭和49年2月9日)

まつり同好会刊行物に掲載された三信遠の芸能と信仰に関する論文案内

◆まつり通信 まつり同好会

〒458-0006名古屋市緑区細口3-161 田中青樹方 TEL052-877-3497
年5000円 1961年創刊

◇630 (64-2) 2024.3 A4 8p 600円

(能登半島地震お見舞い)

表紙写真の言葉 壬生狂言 京都市中京区・壬生寺 須藤 功
ジャランボン祭り 須藤 功

南西諸島の輪踊り(サークルダンシング)(9)

一沖縄本島(6) ウスデーク(2) 坂本 要

文化財の新指定など 重要無形民俗文化財 當麻寺練供養(奈良県葛城市)、小豆島農村歌舞伎(香川県土庄町、小豆島町)、「川内大綱引」(鹿児島県薩摩川内市)／記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財

◆れきしみち 安城市歴史博物館

〒446-0026安城市安城町城堀30 TEL0566-77-6655 1991年創刊
<https://www.ansyobunka.jp>

◇131 2024.1 A4 8p

表紙 ちゃぶ台囲んで(2009)、かあちゃんよんで(2007)

特別展「昭和の家族—安部朱美 創作人形展—」 文責・野上真由美

第13回松平シンポジウム「秀吉家康入魂 徳川家康と豊臣政権」 基

調講演「豊臣大名 徳川家康」播磨良紀氏／基調報告①「三河真宗

の復活と徳川家康の三河支配」山本浩樹氏／基調報告②「天正壬午

の乱から惣無事へ」谷口央氏／シンポジウム

文責・西島康介

安城歴史散策 風を感じて歴史を歩く(17) 番外編①

文責・片岡 晃

三 重 県

◆三重県史研究 三重県環境生活部文化振興課歴史公文書班

〒514-0061津市一身田上津部田3060 三重県総合博物館 3階 TEL059-253-3690

1985年創刊

◇39 2024.3 A5 90p

萬古焼史考

井上喜久男

堀内広城と長野義言の関係について—長野義言尺牘を中心に

浦野 綾子

伊勢商人川喜田政明の『質問録』

小玉 道明

北勢地域からみた「伊勢暴動」

石神 教親

立見尚文の親族関係について—二人の立見尚志

杉本 竜

四郷商工会の設立とその意義

藤谷 彰

資料紹介 神宮文庫所蔵『米田家旧蔵資料』の中世文書について

小林 郁

◆三重の古文化 三重郷土会

〒514-2305津市安濃町清水1008 浅生悦生方 TEL059-268-2671

年4000円 1947年創刊

◇109 (通150) 2024.3 A5 184p

古田重勝と織部そして大久保長安

鷗川 貞二

干鰯問屋小津与右衛門の物産学

小玉 道明

三重の円空

瀧川 和也

幕末期大砲関係資料をめぐって

—奄芸群中山村鋳物師・阿保家資料から

中村 光司

米騒動時の三重県内米廉売(下)

西川 洋

伊東富太郎の足跡(14) 追悼 岩野見司先生

石神 教親

三重県における竜伝説の諸相

久志本欽也

史料復刻 上出又吉宛て書簡

三重郷土会古文書勉強会

資料紹介続 津綏子と明治の「土方歳三」誤認写真

浅生 悦生

資料紹介 津藩伊賀国の年貢関係史料について

一古山界外村中村家襖下張り文書から

藤谷 彰

資料保存施設巡り 鳥羽市立図書館 旧町村役場文書の保存整備

山本 実

資料保存覚書 「三重の文化財と自然を守る会」活動資料の保存

駒田 利治

新刊紹介

『津藩領国支配と地域社会』藤谷彰著

藤谷 彰

『街道今昔 三重の街道をゆく』千枝大志ほか編著

石神 教親

『出入りの地域史一求心・醸成・発信からみる三重』

吉村 利男

『四日市港ができるまで一四日市港の父・稲葉三右衛門と修築事業』

石原佳樹著

石原 佳樹

新聞記事から一2023年

吉村 利男

事務局日誌 令和5年

浅生 悦生

追悼 大喜多甫文先生を偲んで

門 暉代司

滋 賀 県

◆湖国と文化 びわ湖芸術文化財団

〒520-0806大津市打出浜15-1 TEL077-523-7146 年2520円 1977年創刊

<https://www.biwako-arts.or.jp>

◇187 (48-2) 2024.4 B5 88p 600円

《特集 湖国のトレイルー山の過去・現在・未来を歩く》

プロローグ

編 集 室

比良比叡トレイル

歴史と絶景の道を歩く 比良比叡トレイル

澤山 恵

祈り・大パノラマ・麓も魅力 比良比叡トレイル

山下 信一

コラム 登山者の安全を願って。レスキュー比良

松下 征文

高島トレイル

中央分水嶺を歩く。高島トレイル

谷口 良一

地質・動植物・歴史の境80キロ 中央分水嶺を歩く 高島トレイル

谷口 良一

コラム トレイルの目指すもの一高島トレイルの歩みから

谷口 良一

伊吹山

自然・歴史・文化、滔々と。伊吹山

高橋滝治郎

陸貝の名産地。ヒメボタルも育む 伊吹山

中井 克樹

コラム 豊かな伊吹山を次世代へ一生態系保全や登山道補修

高橋滝治郎

鈴鹿10座

「天狗」舞う鈴鹿10座	山崎 亨
イヌワシとクマタカと人、共生の奇跡 鈴鹿10座	山崎 亨
コラム 伝えたい山の魅力	中野栄美子
湖東カルデラトレイル	
湖東「巨大カルデラの名残」を歩く	水田優夏志
湖東カルデラトレイルのすすめ	水田優夏志
テーマを持った山歩き わたしだけのトレイル	草川 啓三
歴史の玉手箱(31) 琵琶湖疎水の裏側	岡本 和己
謎の伊勢遺跡と倭国の形成(上) 伊勢遺跡はこのように発見された	伴野 幸一
近江の懐(28) 北国脇往還 小谷宿	加藤賢治/石川亮
ぶらり近江はっけん伝(28) 野路	岸野 洋
湖国のつなぎでー地域おこし協力隊探訪記(8)	
釘田和加子さん(湖南市)	文・写真 船崎 桜
カラグラフィア	
琵琶湖センス・オブ・ワンダー 湖と人が織りなす歴史と今(13)	
新天地で生き続ける海浜植物	文・大槻達郎/写真・オザキマサキ
祭の美 祈りのかたち(21) コロナ期は「エア盃」 搗いてつなぐ	
心意気(餅搗き祭の「小豆の大鏡餅」=栗東市出庭 出庭神社)	文・写真 川島朱実
万葉の旅人(20) 朝妻山	文と曲・林博通/画・鈴木靖将
食まなび館へようこそ! (4) 今号のメイン料理 焼き鯖そうめん	
五月見舞い、祭……街道が運んだ「ハレの味」	
堀越昌子・肥田文子・中村紀子・鳥本登志子/写真・浅井千穂	
インタビュー 湖と生きる 「調和の中へ」。五個荘から世界へ発信	
国内外で活躍する現代アート作家 大船真言さん	文・西原サキコ/写真・谷本吉有基
ニュースの小箱 小原かごの太々野さん・荒井さん	
「文化で滋賀を元気に! 賞」大賞	
近江鉄道を活かしたまちづくり 「鉄道でどうするか?」発進	芝 久生
「誰もが美術館にアクセスできる」を普通のことに	
「みかたの多い美術館展」の実践	山田 創
トムさんの日野暮らし(15) みんなの伝芸	
地元それぞれに伝統芸能。この豊かさ未来へ	トム・ヴィンセント
湖国と文化・地域記者レポート 北から南から	
未来に語り継がれる小谷城	大谷 隆
聴きたい人と演奏家をつなげる	町田 雅子

世界のどこかと地元の食材が解け合う一皿
着物を楽しく日常に

大藤 寛子
泉 千恵

◆彦根城博物館だより

〒522-0061彦根市金亀町1-1 TEL0749-22-6100 1988年創刊
<http://www.hikone-castle-museum.jp>

◇144 2024.3 A4 4p

数寄と清風―井伊直亮の茶の湯と煎茶― 唐物鶴首茶入 当館蔵
展示案内 特別公開 展示室1 雛と雛道具、テーマ展 展示室1
数寄と清風―井伊直亮の茶の湯と煎茶、特別公開 展示室1 国
宝・彦根屏風、テーマ展 展示室1 茶壺―武家の美意識
研究余録 金亀玉鶴 井伊家伝来の煎茶道具と湖東焼

奥田 晶子

京 都 府

◆大山崎町歴史資料館館報

〒618-0071乙訓郡大山崎町大山崎字竜光3 TEL075-952-6288 1995年創刊

◇29 2023.3 A4 28p

ごあいさつ 福島 克彦
令和3年度日誌抄録／公開展示・講演会／令和3年度入館者一覧表／
受領図書一覧表
調査・研究報告(31) 『中田家文書』目録 福島 克彦

◆京都府立大学文学部歴史学科 フィールド調査集報

〒606-8522京都市左京区下鴨半木町1-5 TEL075-703-5491 2015年創刊

◇10 2024.03 A4 111p

刊行にあたって

第I部 地域の歴史と文化遺産の調査（京都府内）

京都市野邊地家文書調査	渡部 凌空
京都市二ノ瀬松本家文書調査	島村 朱音
京都市松村(馬場)家文書調査	本田 龍平
京都市大西末義氏撮影写真調査	本田 龍平
京丹後市須田平野古墳の調査(2)	京都府立大学文学部考古学研究室
古墳を地域資源化する(4)	
―湯舟坂2号墳プロジェクトの2023年	京都府立大学文学部考古学研究室
丹後半島・古代山寺調査の地元向け説明会	菱田哲郎／奥谷三穂／山内愛弓

舞鶴市木船家文書・郷土資料館所蔵文書調査	小島 慧音
京都府立東舞鶴高校連携授業	小原 万侑
綾部市君尾山光明寺の総合調査	東 拓宏
福知山市MALUI連携事業	渡部 凌空
京都府中北部の戦争の記憶の記録化	廣野 勝
京都府北部MALUI連携事業	長谷川巴南
長岡京市における小学生を対象としたワークショップ	廣野 勝
八幡市家村（川源）家文書調査	渡邊 幸奈
八幡市久保田又右衛門家旧蔵文書調査	渡邊 幸奈
八幡市橋本・岡家文書調査	竹中友里代
第Ⅱ部 地域の歴史と文化遺産の調査（京都府外）	
岐阜市鵜飼屋地区調査	山下悠衣奏
大津市龍家文書調査	渡部 凌空
奈良県十津川村歴史資料調査	渡邊 幸奈
奈良県十津川村歴史資料調査・天理大学附属天理図書館所蔵の関連 文書調査	水谷 友紀
神河町史の建造物調査	岸 泰子
多可町の寺社建築調査	橋本 唯
熊本県天草市上田家文書調査	東 昇
沖縄県那覇市現地調査実習	藤田 尚希
公儀触関係全国御用留・触留調査	山田 洋一
韓国・漢城大での国際シンポジウム 第六回 城北学学会議 境界を越えて：地域学の交流と成長	井上 直樹
第Ⅲ部 市史・町史編纂事業	
京田辺市田辺遺跡の古代墳墓	溝口泰久／井川瑞希
三次元計測モデルを用いた京田辺市VRコンテンツの制作	仲林 篤史
綴喜古墳群国史跡指定記念シンポジウムの開催	諫早直人／上野あさひ／吉永健人
京田辺市史の文書調査	東 昇
京田辺市内の小学校との地域学習プロジェクト	文化遺産学コース3・4 回生
和束町湯谷ノ原古墳、福塚古墳の物理探査	
京都府立大学文学部考古学研究室／山の辺遺跡調査会 和束町における地域学習活動の実施報告	菱田哲郎／瀬川裕太郎／藤川聖起
和束町の鷲峰山金胎寺・景観調査	岩本 悠梨
第Ⅳ部 歴史学科学学生の取組み	
香川県小豆郡小豆島町における文化遺産学フィールド実習について	

松岡茉陽琉
栗田晋吾／鯨島聖斗
小豆島町中山地区の石造物調査
小豆島町中山地区の神社建築
一熊野三所大権現・春日神社宮殿・春日神社定棧敷 岸 泰子
表紙写真 京都府庁本館での文化庁連携特別授業（2023年11月15日
岸泰子撮影）

◆京都民俗 京都民俗学談話会

〒603-8301京都市北区紫野北花ノ坊町96 仏教大学歴史学部 八木透研究室気
付 TEL075-491-2141 年4000円 1984年創刊

◇42 2023.11 A5 134p

柳田国男の「民俗」忌避と国民性論

一『民俗』と『郷土研究』を起点に 渡 勇輝
『華城八景』出版変遷史研究ノート 岸田 史生
桂六斎念佛と地域住民の関係性—中断による影響を踏まえて 志川 真子
鉢差しの技と身体—銅鉦の練習過程の参与観察をもとにして 古谷 涼
コロナ禍の銭湯—京都の銭湯の対策の在り方 樽井 由紀
稲波親茂伝来文書について 中原 逸郎
書 評

上野誠著『折口信夫「まれびと」の発見—おもてなしの日本文化は
どこから来たのか?』 森田 玲
三隅貴史著『神輿と闘争の民俗学—浅草・三社祭のエスノグラフィ
—』 中西 仁
新刊紹介 植村善博ほか著『日本禹王事典』 斎藤 英喜
談話会・年次研究大会報告 2022年10月～2023年9月

◆史迹と美術 史迹美術同致会

〒602-8342京都市上京区仁和寺街道千本西入五番町158-2 コスモトゥデイ708
丸山貞方 TEL075-462-4292 年8000円 1930年創刊
<https://www.shibikai1930.com>

◇942 (94-2) 2024.2 A5 34p 1018円

五輪塔雑攷 彩色された五輪塔(下) 加藤 繁生
九州の石塔調査報告 13. 法華寺観音堂角宝塔残欠 佐藤 誠
第1113回例会 近江八幡市の長命寺と市内の文化財を訪ねる 山田 隆之
第1114回例会 長良川流域を訪ねる 野崎小百合
旧和中散本舗と大角家 紅 式 部

第四十六回総会報告

田中 康夫

◇943 (94-3) 2024.3 A5 34p 1018円

九州の石塔調査報告 13. 法華寺観音堂角宝塔々身無銘(1)～(3)

佐藤 誠

画論研究 3 『画筌』の研究—現代語訳付(14)

寺本 健三

高野山奥之院豊臣家墓所の秀吉姉智五輪塔について

木下 浩良

第1115回例会 加古川の文化財を訪ねる

高橋 浩行

◆立命館大学国際平和ミュージアムだより

〒603-8577京都市北区等持院北町56-1 TEL075-465-8151 1993年創刊

<https://rwp-museum.jp>

◇92 (31-3) 2024.3 A4 4p

対話する平和ミュージアムへ

君島 東彦

日常の中に「戦争」と平和を考える

鳥山 純子

ボランティアガイドコラム

リニューアル後のガイドで見えてきたこと

長井 正之

学生スタッフ 活動記録 学生プロジェクトスタッフ編

塚本 遼平

遊心雑記 ウクライナ戦争と腰痛

安斎 育郎

大 阪 府

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845岸和田市阿間河滝1425 井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円

◇435 2024.3 B5 12p

「山直神社」由緒書を巡る三つの迷宮～山直郷内畑村の行方(7)

池田 雅治

新川家住宅 「新川八郎左衛門家(醸造業) 新川正直」

北山理・編著

史料紹介 泉州の寺社(32) 佐野村九社関係文書 藤田家文書イ38の

10 京都吉田家より役人中順廻に付控 享和元(1801)年月／藤田家

文書イ38の11 完成四年被仰出書 寛政四(1792)年／藤田家文書イ

38の4 奉願寛 年月不詳

◆大阪の歴史 大阪市史編纂所

〒550-0014大阪市西区北堀江4-3-2 大阪市立中央図書館内 TEL06-6539-3333

1980年創刊 http://www.oml.city.osaka.lg.jp/?page_id=871

◇95 2023.10 A5 100p 700円

大坂三郷の大工集団—天満大工組を中心に

田坪 賢人

史料紹介 明治末期における一兵卒の上等看護卒への道のり

—「森田義雄氏関係資料」を材料に 加藤 真生
 近代大阪の「不良住宅地区」における健康と救療
 —旧豊崎村を事例に 井ノ元ほのか
 歴史こぼればなし 惣年寄の寄合所—東寄合所と西寄合所 野高 宏之
 みおつくし 山科に行ってしまった鐘 尾崎 安啓
 新刊図書紹介
 呉偉華著『近世大坂の御用宿と都市社会』 野高 宏之
 小倉慈司・西宮秀紀・吉田一彦編 シリーズ宗教と差別第三巻『差別の地域史—難波村からみた日本社会研究』 野高 宏之
 北川史著『大坂城と大坂・摂河泉地域の歴史』 野高 宏之
 塚田孝編『新 体系日本史8 社会集団史』 吉川 潤
 市史編纂日誌 令和4年(2022)4月～令和5年(2023)3月
 表紙 「土農工商之内 工」(国立国会図書館デジタルコレクション)

◆大阪民衆史研究 大阪民衆史研究会

〒599-0223阪南市光陽台4-5-25 林耕二気付 TEL072-471-8601 1993年創刊
<http://www.ac.cyberhome.ne.jp/~minshusi/>
 ◇76 2024.3 A5 110p 1000円
 足尾の光と影を語り継ぐ—いま何を継承するのか
 「田中正造没後110年・足尾銅山閉山50年記念大阪集会」講演 高橋 若菜
 浦上四番崩れ、和歌山藩流配についての一考察／コラム 特筆すべき
 個別の話題の紹介(一部省略) 高津尾のマリア像
 グループ「紀州キリシタン学習会」

川崎重工業泉州工場への空爆と密かに始まった数学の授業

—田口精一さんの証言を通じて 中村 勲
 軍事・戦争遺跡と地域史
 —「戦争遺跡」と『龍間戦争記』の再検討から(上) 小林 義孝
 「国防婦人会」発祥の大阪港区 地域から検証する—1932～1942 松浦由美子
 戦後女性史研究年表 石月 静恵
 グラビア(裏表紙) 泉大津高校考古資料室・池上曾根遺跡見学会
 案内・平島将史さん(運営委員) 文・平島将史／写真・林耕二
 会員の編著書 尾川昌法著『写真で見る水平運動史』、石原佳子(会員)・
 横山篤夫(会員)ほか解説 岡原寛著『陸軍少将岡原寛 戦中・戦後
 日記—演説の名手が生きた銃後と戦後』、小西禎一・塩田潤・福田
 耕(会員)著『維新政治の内幕 「改革」と抵抗の現場から』、川崎康
 樹著『随想 古今集を読んでいて』、石月静恵著「大阪の女性史研究」

『ヒストリア第300号』、新井勝紘著『関東大震災 描かれた朝鮮人
虐殺を読み解く』

◆大塩研究 大塩事件研究会

〒530-0053大阪市北区末広町1-7 成正寺内 TEL06-6361-6212 1976年創刊

◇90 2024.3 A5 90p

松尾壽氏を偲ぶ 井上 寛司
相蘇一弘氏を偲ぶ 藪田 貫
写本『咬菜秘記』・『酩酊録』、埼玉にあり(下) 内田 満
特別展「大坂の陣と吹田村一橋本家文書展一」を実施して 池田 直子
資料翻刻「天保年中秘鑑 全」(一) 大塩の乱関係資料を読む部会
『天保年中秘鑑』について 藪田 貫
「大塩平八郎終焉の地」碑移設記念展示会
洗心洞通信(78)

大塩に関する書籍紹介

伊東潤『浪華燃ゆ』講談社 2023 松浦 信輝
谷治宇『へんこつ』角川春樹事務所 2022 松浦 信輝
「大塩研究」総目次(第71号～90号)

◆かいづか文化財だより テンブス 貝塚市教育委員会

〒597-8585貝塚市畠中1-17-1 TEL072-433-7126 1996年創刊

◇81 2024.1 A4 8p

表紙 香取市「完全復元伊能大図パネル展」設置の伊能大図パネルの
貝塚周辺部分
岩橋善兵衛(いわはしぜんべえ)と伊能忠敬(いのうただたか)
重要文化財 願泉寺表門の整備事業が完了しました／貝塚市文化財保
存活用地域計画策定事業 ワークショップを開催しました
和泉葛城山ブナ林国天然記念物指定100周年記念行事 シンポジウム
「和泉葛城山ブナ林 これまでの100年これからの100年」を開催し
ました／和泉葛城山ブナ林自然観察ハイキングを実施しました
中央小学校で地域学習を行いました／二色小学校の3年生・4年生が
むかしの道具の見学と体験を行いました
古文書講座一市内に残る身近な古文書 江戸時代の縁組／古文書講座
72(通算340回～344回)開催のお知らせ テーマ「岩橋善兵衛の望遠
鏡と天文2」

◇82 2024.3 A4 8p

表紙 要(かなめ)家文書には「日録(にちろく)」・「日記」の墨書きさ
れている横帳が多数のこされています

要家文書にのこる63年分の「日録」からわかること／貝塚市郷土資料
展示室特別展「岸和田藩の七人庄屋 要家文書の世界」

小学校巡回展示「東洋の魔女と1964年東京オリンピック」／貝塚市文
化財保存活用地域計画策定事業 文化財所有者などへのアンケート
結果について

第129回かいづか歴史文化セミナー 現地見学会「和泉櫛とつげさん
のルーツを訪ねて」を開催しました／第130回かいづか歴史文化セ
ミナー 「かいづか家族の日」関連事業 講演会「水間鉄道いまむ
かし」を開催しました

「俳人松瀬青々と昭和の水間焼講話会」を開催しました／姉妹都市カ
ルパーシティ市の日本庭園―歴史展示館の展示資料から(8)

◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13 上本町YUFURA 7階

TEL06-6775-3686 年2200円 <https://www.kintetsu-g-hd.co.jp/culture/bunka/>

◇892 2024.3 A4 8p 300円

東大寺二月堂 松明調進の道をゆく―前編

来村多加史

明智光秀の丹波攻略と亀山城・福知山城

新谷 和之

◇893 2024.4 A4 8p 300円

「日本国誕生」の物語―飛鳥宮周辺を歩く

相原 嘉之

井伊家の城と庭園―彦根城と玄宮楽々園

麓 和善

大和文華館特別企画展「没後一〇〇年 富岡鉄斎―一知の巨人の足跡」

◆近畿民俗 近畿民俗学会

〒569-0055高槻市西冠2-5-5 伊藤廣之方 年5000円 1949年創刊

◇190 2024.3 A5 80p

近代の地域社会における葬儀の変化―河内長野市石見川を事例として

岡吉 君子

福岡県下における近親婚伝承と佐與姫・佐世姫・佐夜姫・佐野姫と称
する祖神(後)

近藤 直也

世相から読み解く節分の巻ずし

岩崎 竹彦

◆堺研究 堺市立中央図書館

〒590-0801堺市堺区大仙中町18-1 堺市立中央図書館総務課図書館サービス係

TEL072-244-3811

◇46 2024.3 A5 87p 640円

表紙解説 「駿河屋(与謝野晶子の生家)」

『堺の風物史』岸谷勢蔵画から

中世の会合衆と商業都市堺

吉田 豊

与謝野晶子は堺における少女期をどのように描いたか

—随筆、評論、詩を通して

古澤夕起子

史料紹介 和泉国大鳥郡土師村小林家文書について

岡田 光代

◆城だより 日本古城友の会

〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28 平川大輔方 TEL06-6652-4511

<http://www.kojyo-tomonokai.com>

◇663 2024.3 B5 22p

近江 小谷城を訪ねる(4月・第726回) 今回の見どころ

川端義憲さん、ありがとうございました～追悼～

平川 大輔

2月・第724回例会報告 訪問先:山城 鹿背山城・木津城

担当幹事:下岡力・水品弘樹

報告・下岡 力

「岸和田城ぶらり旅～岸和田に眠る城郭遺構～」に参加しました

藤岡 秀典

別冊(B4 5頁) 第725回 令和6年3月3日 大和 佐味城を訪ねる

担当幹事:高菅純子・平川大輔

◆つどい 豊中歴史同好会

〒560-0054豊中市桜の町4-6-27-208 小川滋方 月1000円

1988年創刊 <http://toyoreki.way-nifty.com>

◇425 2024.3 B5 20p

古代日本の神—来臨する神と常在する神

中井かをり

古市古墳群西部を歩く(2)—河内松原駅から高鷲駅

木村 幸子

◆民俗文化 近畿大学民俗学研究所

〒577-8502東大阪市小若江3-4-1 TEL06-6721-2332 1989年創刊

◇35 2023.12 A4 208p

口絵写真 高野山麓の榎(カヤノキ)をめぐる民俗

写真・キャプション 藤井弘章

近畿の民俗・文化

高野山麓の榎(カヤノキ)をめぐる民俗

藤井 弘章

北陸の民俗・文化

戦国期の加賀・越前国境域における朝倉氏の軍事行動と築城	
一越前国神宮寺城を中心に	新谷 和之
芸娼妓紹介人の収益構造をめぐる一考察	人見佐知子
史料紹介	
高田城下町絵図(近畿大学中央図書館蔵)	
	二〇二二年度基礎ゼミ受講生・新谷和之
湛海書状(近畿大学中央図書館蔵)	二〇二二年度演習ⅠA受講生・新谷和之
書評と紹介 野本寛一著『麦の記憶—民俗学のまなざしから』	辻 貴志
活動記録 民俗学研究所第三回公開講演会(講演要旨)	
「平野屋新田会所跡の歴史と保存・活用」	佐々木拓哉
研究ノート 本邦主要寺院の龍について	橋口 尚武
東南アジアの民俗・文化	
フィリピン・セブ島におけるパジャウの魚名に関するフィールドレポート	辻 貴志
嘉定城通志(Gia Định thành thông chí)に記載されたエビ・カニ類の同定	鈴木伸一／小菅文治

兵 庫 県

◆あわじ 淡路地方史研究会	
〒656-2334 兵庫県淡路市釜口2394-35 海部伸雄方 TEL0799-74-5810	
年6000円 1984年創刊	
◇41 (会誌57) 2024.2 B5 92p	
表紙 鳴戸崎『淡路国名所図会』／題字 五島清弘	
はじめに	海部 伸雄
波毛康宏先生追悼 追悼文	
弔鐘 波毛康宏さんを悼む	永田 誠吾
波毛康宏先生を偲んで	伊藤 宏幸
追悼 波毛先生と私	堀部るみ子
波毛先生と淡路島 遠い日の考古学追想	山上 雅弘
正月のまつりごと一暮らしの中の民俗	小栗栖健治
淡路島の「浦」の成立と水事情—津名郡仮屋浦・下田浦の事例から	海部 伸雄
先山千光寺の伽藍について	新谷 昭夫
「風流大踊小踊」ユネスコ無形文化遺産に登録	堀部るみ子
淡路島の歴史あれこれ1	
津井で採れた亜炭について	谷池 鋭彦

淡路島の歴史あれこれ2

戦後古今七六年淡路島相撲外史 令和三年十一月洲本市役所場所 岩橋 久義
歴史フォト&エッセイ

大渋滞の福良上町

太田 良一

思い出の写真・懐かしの写真

堀部るみ子

我が家の古い写真―祖父近藤雄太郎のこと

近藤 邦子

令和五年例会記録

◆家系研究協議会会報

〒675-0101加古川市平岡町新在家1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921
年5000円 2002年創刊 <https://www.kakenkyou.org>

◇87 2024.2 B5 8p

能登半島地震

馬原 浩一

家系研究協議会 令和5年度 秋の例会報告 『秀吉の養子となった
荒木村重の娘妙薫と、村重の女房だしの系譜』 荒木幹雄氏（本会
会員）

家系研究小ネタ特集(10) 「光る君へ」が始まりましたが…

◆市史編さんだより 三木市総務部市史編さん室

〒673-0432三木市上の丸町4-5 三木市立みき歴史資料館2階
TEL0794-83-1120 2015年創刊 <https://www.city.miki.lg.jp/soshiki/9/>

◇15 2023.12 A4 4p

吉川町新田地区で住民学習会が開かれました

(清原)

《市史の窓》 三木市のはじまり

(関山)

市史編さん室が行う「調査」とは？―民俗調査(1)

(中谷)

編さん室トピックアップ みき歴史資料館企画展「地域の史料たち7
―三木の歴史―」の開催(木村)、研究紀要『市史研究みき』第8号
の発行(木村)

◆史料ネット NEWS LETTER 歴史資料ネットワーク

〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学文学部内 TEL078-803-5565
年1000円 <https://siryo-net.jp>

◇98 2024.3 A4 12p

表紙 2023年台風23号により水損した資料の保全活動(茨城史料ネッ
ト、2023年10月22日)／史料ネットワークショップ「被災資料の取
り扱いを学ぶ」での汚損資料洗浄実習(於神戸大学、2023年9月18日)

巻頭言 そうではない、そのためではない場所で、「それ」を日常行為として行う	戸部 愛菜
歴史資料ネットワークによる能登半島地震対応について	小野塚航一
兵庫県立御影高等学校の課題探求型授業に協力しました	
2022度G S課題研究歴史文化セミナーでの取り組みについて	百済 正人
嘉納治五郎の事績に対する顕彰について	
ー東灘・御影地域での教育活動に着目して	伊集院琥珀
体験型イベントから考える地域歴史遺産の保存と活用	
ー「御影」地域のまち歩きイベントを事例として	辰巳 楽々
日本酒の魅力を酒粕を活用して発信していくためには	
ー神戸・東灘地域での取り組み	福岡 芹菜
歴史資料に対する考え方を変えていくためには	
ーデジタル資料保存のあり方から考える	石橋 涼
台風13号に伴う茨城史料ネットによる水損資料レスキュー活動報告	尾崎紗耶香
シンポジウム「古文書から地域の歴史を紡ぐー岡本家文書の今までとこれからー」開催報告にかえてー「幕引き」を見届けつつ、次代につなげる	河野 未央
「被災資料の取り扱いを学ぶー災害時の初動から保全までー」全4回ワークショップに参加して	永田 千晃

◆西宮文化協会会報

〒662-0974西宮市社家町1-17 西宮神社内 TEL0798-33-0321

<https://nishinomiya-ebisu.com/bunkyo/>

◇672 2024.3 B5 8p

四月行事 令和六年度定例総会・記念講演会 記念講演会「甲子園球場百年の歴史」武庫川女子大学名誉教授 丸山健夫氏

西宮万葉風景だより(7) 宮永 岡本三千代

十一月行事

秋の見学会 和泉市久保惣記念美術館・岸和田散策に参加して 松島 由佳
令和五年度 会報総目次

◇673 2024.4 B5 8p

五月行事 文化講演会 百太夫と四人の西宮ゆかりの国民栄誉賞受賞者ー森繁久弥、森光子、服部良一、遠藤実 西宮文化協会会員・西宮芦屋研究所副所長 小西巧治氏

西宮の歳時記(1) 西尾 嘉美

文人趣味が迎えた近代

所蔵名品展「日本の古瓦・武具・書画」黒川古文化研究所 飛田 優樹
二月行事 文化講演会「西宮で起きた“たまたまの奇跡”が四代目玉
田玉秀斎を生んだー」 講師 玉田玉秀斎氏多いに語る 江崎健一郎
「夙川の春」井堂雅夫の版画 堀内 陽光

◆東播磨 地域史論集 東播磨地域史懇話会

〒675-1224加古川市平荘町上原298-1 山本祐作方 TEL079-428-1055

1994年創刊

◇特別号 2023.11 A4 54p

兵庫県三木市 小和田神社裏山遺跡検出の瓦塔と兵庫県内検出の瓦塔

集成

藤原良夫／岡本一士

◆LINK 地域・大学・文化

神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター年報

〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1 TEL078-803-5566 2009年創刊

<http://www.lit.kobe-u.ac.jp/~area-c/>

◇15 2023.12 B5 142p

巻頭言

吉川 圭太

特集 自治体史編さんの現在一参加と活用の新しい取り組み

特集にあたって

編集委員会(文責 井上舞・木村修二)

どのように地域の歴史と向き合うのかー体験的自治体史編さん論 奥村 弘

丹波篠山市史編さん事業の現状と課題

成田 雅俊

三木市史の地域編とニュータウンの自治体史の意義と課題について

廣井 愛邦

自治体史収集資料の保存・公開・活用

一茨木市立文化財資料館 郷土史料室の事例

高橋 伸拓

市史を読む会の課題ー尼崎市での経験から

中村 光夫

自治体史の「活用」の具体的手法を考える

ー『たどる調べる尼崎の歴史』を素材として

河野 未央

インタビュー・シリーズ 歴史研究の隣人たち(4)

ジャーナリスト 中村俊介さん

司会・古市 晃

インタビューにあたって

古市 晃

特別寄稿 日本における「遺産」と歴史学の関係についての考察

シヨンコイ・ガーボル(訳・解題 市原晋平)

フィールドレポート

「鳴門の渦潮」調査研究プロジェクトの活動からその社会的意義を

問う	磯本 宏紀
朝来市内の地域歴史遺産保存活動の広がりについて	田畑 基
LINKを読む 「おもしろくてためになる」古書店という「歴史研究の隣人たち」考—書肆つづらや店主のインタビューを読んで	西村慎太郎
時評・書評・展示評	
展示評 国立歴史民俗博物館企画展示「いにしえが、好きっ！」	須藤 宏
自治体史編纂と震災資料	
—『岩沼市史11 特別編Ⅲ震災』における震災叙述	天野 真志
活動報告	
附属図書館所蔵・若林泰氏収集文書における画像と目録リストとの照合作業	下箱石 響
伊方原発設置反対運動資料の保存・整理をめぐる現状と課題	吉川 圭太
地域住民と協働した福崎町中島区有文書の保全活用事業について	井上 舞
活動報告 人文学研究科古文書室架蔵文書群の紹介(12)	木村 修二

◆歴史と神戸 神戸史学会

〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4 田中印刷出版内 TEL078-871-0551

年3000円 1962年創刊

◇363 (63-2) 2024.4 A5 49p 600円

表紙 小泉製麻旧本社（阪神・淡路大震災で全壊） 画・田中邦彦画伯
巻頭言 (大国)

特集 江戸時代のひょうご史と現代

ひょうご史こぼれ話 播磨の和泉式部伝説—仏教とジェンダー	渋谷 武弘
黒田庄町のニジュウソー報告(1)の補遺	柴田 昭彦
丹波竹田祭の神輿について—宿八幡神社の神輿と関連文書	青木 正文
明治期における尼崎藩の印鑑	岸添 和義
神戸事件に見る信頼性と危機管理	大崎 茂芳
因幡街道の一里塚と播磨国絵図	中村 和男

総会開催と大国正美さんが代表就任／委員の渋谷武弘さんが死去

新聞地域版を読む 神戸新聞の文化財記事(2015年5月14日～6月3日)

大国正美／有吉康徳

奈 良 県

◆奈良学研究 奈良学学会

〒631-8501奈良市帝塚山7-1-1 帝塚山大学奈良学総合文化研究所

TEL0742-48-8842 1997年創刊

◇26 2024.3 A5 130p

奈良時代前後の百濟(朝臣・宿祢・公)氏

鷲森 浩幸

上田秋成『いははし』先行書との議論

伊藤 純

史料紹介

帝塚山大学所蔵の文明八年十一月二日大法師行清寄進状

一 呉田吉田家「聆涛閣」旧蔵文書の紹介

花田卓司／辻極侑衣

卒業研究

鑑真和上坐像に関する一試論

高橋永太郎

近畿地方の「くびきり地蔵」

橋本 巴月

三重県名張市赤目町の正月行事と盆行事

平井 愛梨

実践報告 「奈良学」の実践

柴田喜好／岩田滯奈／雪下大輔

研究余滴 法隆寺伝来「唐本御影」の近世、その一斑―御物《聖徳太

子二王子像》の一版本をめぐる

杉崎 貴英

天寿国繡帳と三国時代の韓半島―渡来系工人と日月像を中心に

徐 玉茜

例会・公開講座記録 2023年度公開講座

◆奈良県立同和問題関係史料センター研究紀要

〒630-8133奈良市大安寺1-23-1 TEL0742-64-1488 1994年創刊

◇28 2024.3 A5 151p

済生会御所病院誘致を巡る人的交流

深澤 吉隆

松浦武四郎が記述したアイヌの倫理観に関する一考察

竹中 緑

「琉球併合(処分)と抵抗の動向」

今西 就子

「日暮れと道遠し」

吉田栄治郎

史料紹介 郡山城下町観音寺町町割図(新出史料)について 山川均／西山真由美

中世奈良北郊を非人を題材に考察する

一 嘉暦三年「東大寺衆議事書」等から

山村 雅史

近世民衆の宗教的帰属意識について

岡村 喜史

史料紹介 龍田神社神主政所家日記録(明治二年七月～明治三年五月)

上野 充

講演録 日本画に描かれた多様な人々

平岡 譲

◆日本文化史研究 日本文化史学会

〒631-8501奈良市帝塚山7-1-1 帝塚山大学奈良学総合文化研究所

TEL0742-48-8842 1977年創刊

◇55 2024.3 A5 132p

再録 民俗調査の思い出	赤田 光男
聖徳太子と物部守屋―逆臣守屋から地藏菩薩守屋	伊藤 純
日野祭の変遷と復興(前編)	矢田 直樹
一九六〇年代の奈良の食―『奈良県観光』連載「大和味覚巡礼」より	鷺森 浩幸
京都・一念寺阿弥陀如来坐像の東大寺伝來說小考	杉崎 貴英
資料紹介	
興福寺南円堂の「不空羼索観音菩薩御影」について(修理報告)	多川 文彦
史料紹介	
十七世紀末から十九世紀初頭の陸奥国会津郡若松における穀物・銭	
相場史料 上―築田家文書「相場書帳」(享保七年から宝暦二年ま	
で)	川口 洋
九個荘文書 元禄十年「過去帳」	柴田 喜好

和歌山県

◆紀州古城館情報 和歌山城郭調査研究会会報

〒641-0052和歌山市東高松3-6-16 白石博則方 TEL073-445-0122

◇379 2024.2 B5 12p

御坊市の八幡山城跡が公園化に向けて整備始まる 文責・白石博則
会内見学会「高野山の城か?半岩城跡ほか」

御坊市吉田の八幡山(やはたやま)城跡の整備・保存について 白石 博則
おめでとうございます!

当会顧問 水島大二氏が和歌山市文化功労賞を受けられました 白石 博則
一泊訪城会 IN 滋賀・岐阜 江川 和子

今、うわさの玉城跡へ 白石 博則

1月13日(土)「鈴木城」(雑賀孫一居館)跡会内見学会の12人参加 (白石)

見学会感想 現地を見て、学ぶことの大切さを感じた見学会 林 和宏

書籍のご紹介 『描かれた中世城郭』、『歴史研究』717号 2024年1・2

月号

◇380 2024.3 B5 8p

三重県熊野市新鹿で未確認城館跡を確認 岬先端の父無山城跡 白石 博則
会内見学会「高野山の城か?半岩城跡ほか」

報告 雑賀孫一ゆかりの寺・蓮乗寺を訪ねて

報告 (城郭類似遺構)熊野のシシ垣を歩く 増山 政昭

シシ垣の悩ましさ 白石 博則

岡 山 県

◆岡山の自然と文化 郷土文化講座から 岡山県郷土文化財団

〒700-0822岡山市北区表町1-7-15 702号 TEL086-233-2505 1982年創刊

◇43 2024.3 A5 198p

ごあいさつ

石井 清裕

新見からの発信一新見美術館の取り組み

藤井 茂樹

岡山の縄文時代：環境・文化・人口

山口 雄治

『備前軍記』『備中兵乱記』を読み直す

一江戸時代の軍記物が記す戦国時代の岡山

内池 英樹

岡山後楽園夜間特別開園 秋の幻想庭園／倉敷芸術科学大学 後楽園

屏風展 特別講演会 『屏風がつなぐ昔と今』

森山 知己

◆きび野 岡山県郷土文化財団

〒700-0822岡山市北区表町1-7-15 702号 TEL086-233-2505

<http://www.o-bunka.or.jp>

◇4 2024.3 A5 8p

矢坂から万成までの旧山陽道を歩く（岡山市北区矢坂東町～万成東町）

◆倉敷の歴史 倉敷市総務局総務部総務課

〒710-1398倉敷市真備町箭田1141-1 総務課歴史資料整備室 TEL086-698-8151

1991年創刊 <https://www.city.kurashiki.okayama.jp/1438.htm>

◇34 2024.3 A5 140p

特集 倉敷宮崎屋井上家

特集にあたって

(山本)

倉敷市所蔵備中国窪屋郡倉敷村井上家文書

山本 太郎

井上端木と学芸一法橋になった古祿

大島 千鶴

(重文) 井上家住宅の保存修理工事完了によせて

一文化財建造物の修理と史料等の調査によせて

小嶋はるか

重要文化財井上家住宅の魅力

内池 英樹

国指定重要文化財井上家住宅の思い出一井上家の昔とこれから

井上 典彦

古図にみる倉敷市中心市街地の成立過程

畑 和良

重森三玲が見た発掘調査以前の榑築遺跡の立石

上椿 武

市区町村における公文書管理条例の制定状況について

森 久美

紅緑堂印「丸足付盆」について一玉楮象谷に関する一考察

前田 興

菅生村役場の公文書

山下 洋

敷物製造業者・磯崎高三郎の「便利病床」について

吉原 睦

展示会記録

令和五年度資料展示会 小野家文書の世界—倉敷村の慶長から明治
報 告

令和4年度歴史資料講座

災害に関する歴史資料調査報告会2

令和5年度古文書解説講座

歴史資料整備室見学会

倉敷市文書館(アーカイブズ)研究会の活動

新刊紹介 石田正也監修 除本理史・林美帆編著『「地域の価値」を
つくる—倉敷・水島の公害から環境再生へ』／『近代岡山 殖産に挑
んだ人々2』／『三島中洲と近代・甚八一新収の小野家旧蔵資料重要
文化財 井上家住宅主屋ほか四棟保存修理工事報告書』／小野恭平
『改訂 高梁川西岸河口部の干拓史—船尾村・長尾村の場合』

コラム 「わからない」展示考

(定兼)

広島県

◆芸備地方史研究 芸備地方史研究会

〒739-8522東広島市鏡山1-2-3 広島大学文学部日本史学研究室内

Tel.082-424-6643 年3000円 1953年創刊 <https://geishi.hiroshima-u.ac.jp>

◇324 2024.2 A5 50p 600円

歴史を語る

船管絃の成立に関する一考察—『厳島道芝記』に記載されるまで 大久保聖子
歴史余録 松永湾の汀線＝海岸線と松本古墳について(予察)

山岡渉／江草由梨／小野多恵／山岡美奈

大会記事(2021年度) 会務報告、投稿規定の改訂について／二〇二〇

年度日本歴史学協会総会の報告

動 向

新聞記事から(2018年7月～12月)

広島県の地方史研究 雑誌目録／研究活動

芸備掲示板 企画展「みはらコレクション展—守り伝える古文書・古
典籍」三原市教育委員会／特集展「南画って何なん？」頼山陽史
跡資料館／企画展「広島城の石垣」広島城／早春の展示 博物館
のおしごと展 広島県立歴史博物館／ミニ展示 近代瀬戸内のい草
製品—福山市の畳表と岡山県早島町の花ござ 広島県立歴史博物館

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会

〒720-0824福山市多治米町5-19-8 TEL084-953-6157 <https://bingo-history.net>

◇234 2024.3 A4 16p

備後国衆列伝(20) 御調郡の森光氏 田口 義之
研究レポート 茨城と穴の海の悪神—温羅伝説との類似性 瀬良 泰三
近世福山の歴史講座 50回 阿部藩(1) 初代正邦の時代—その一
第一章 阿部藩、福岡転封—宝永七年(1711)／第二章 福山阿部藩
十萬石—打出し分減封で御納戸不足／第三章 阿部家臣団—職制・
格式／第四章 福山入部の仕事始め 宝永八年(1711) 高木 康彦
読者ノート 「花押」から古文書を読む 木下 和司
総会報告 令和六年度総会

◆みよし地方史 三次地方史研究会

〒729-4304三次市三良坂町三良坂2747 中畑和彦方 TEL0824-44-2753

1987年創刊

◇123 2024.4 A4 20p

憲吉の歌と郷土史 米丸 嘉一
三次地方の古文書あれこれ(3)
広島県における戸籍法の施行と大区小区制 中畑 和彦
三次古文書学習会 吉舎会場十周年《会員追想録》
吉舎古文書の会に参加して 有光 七重
私の古文書の学習 加笠 幸恵
吉舎古文書教室について 佐藤 功
私と古文書 立畑 春夫
私の古文書学習 中畑 和彦
自分なり心の中の出会い 中村 重喜
私の古文書学習 林 厚子
趣味の「古文書」 丸山 充信
古文書と私 村上千佳子
三次盆地の前方後円墳(29) 植松第六・八号古墳—調査報告 加藤 光臣
三次地方の石造物 上田町の嘉永年間の道標 面手 一義

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会

〒723-0051三原市宮浦6-9-32 鈴木方 年3600円 FAX0848-63-9932

◇396 2024.3 B5 12p

お待たせ神明さん 日本一の大だるまが見守る露店街とこどもだるま

行列 東町通り他 2024.02.09 撮影・鈴木健次(宮浦)	
今月の各地 どうなる 新歴史民俗資料館	山本 公恵
春のハイキング「東町方面巡り」ご案内	事務局
昭和の思い出(4) 防諜他(後編)	大谷 和弘
消えた遺跡「正家の井戸」(後日談)	大谷 和弘
付録 「わが町三原」令和5年度目次／参考資料1 表紙部分 国の登録有形文化財(建造物)申請時の資料 目次(資料作成:元三原市歴史的建造物調査研究会会長 来山伸彦氏)／参考資料2 抜粋 民家の見方～参考資料集 目次(資料作成:三好邦範)	
◇397 2024.4 B5 12p	
無病息災を祈る湯立祭 風・水・火の三つの釜で湯を沸かして祈る…	
沼田神社にて 2024.3.03 撮影:瀬畑雅恵(小坂町)	
今月の各地 鶴山城跡を想う	川上 哲司
忠臣蔵と三原義士祭(1)	山崎愛一郎
籠怨(くまの)神社について	鈴木 健次

愛媛県

◆四国遍路と世界の巡礼

愛媛大学四国遍路・世界の巡礼研究センター

〒790-8577松山市文京町3 TEL089-927-9312 2016年創刊

<https://henro.ll.ehime-u.ac.jp>

◇9 2024.3 A4 60p

刊行の辞	胡 光
特集 古代・中世の四国遍路	
古代・中世史料から読み解く四国遍路	大石 雅章
空也と辺地修業	寺内 浩
平安時代後期の讃岐国善通寺・曼荼羅寺地域における「聖域」空間の成立と巡礼僧—四国遍路「霊場」の原型をさぐる	守田 逸人
伊予の中世史料から探る弘法大師信仰と四国遍路	川岡 勉
四国遍路の板碑について	岡本 桂典
論考 四国遍路編	
空海(弘法大師)と平賀源内	福田 安典
法律第11号「癩予防ニ関スル件」(1907年)の位置付け	中川 未来
表紙写真 四国最古の弘法大師像(太山寺所蔵／鎌倉時代／愛媛県指定有形文化財)	

福岡県

◆九州史学 九州史学研究会

〒819-0395福岡市西区元岡744 イースト一号館 九州大学文学部日本史学研究室内 TEL092-802-5098 1956年創刊
https://www2.lit.kyushu-u.ac.jp/~his_jap/kyushusigaku/

◇195 2024.1 B5 92p

特集 壬辰戦争の史料論

巻頭言 特集「壬辰戦争の史料論」にあたって	伊藤 幸司
通貢問題からみた壬辰戦争	荒木 知憲
「唐入り」の社会史	中野 等
「朝鮮国札曹司書簡」と加藤清正	川西 裕也

彙 報

二〇二三年度大会・総会の報告 (文責・村山)

近現代部会の活動報告 (文責・原口)

訃報 小西秀隆氏 有馬 学

◇196 2024.2 B5 60p

近世の博多・福岡における菓子の商業化を通して見た異文化交流 福田 千鶴
 史料紹介 九州国立博物館所蔵の東大寺文書 一瀬智／森哲也

2023年度九州史学研究会大会公開講演・研究発表要旨

公開講演

莊園制と気候変動	伊藤 俊一
山県有朋再考	小林 道彦

研究発表

平安初期における刑部省解部とその職掌の遷移	落合 達哉
「定穢」再考—平安時代における「忌の穢」処理の政務過程	森本 琉
鎌倉期における宇佐宮の造営と中原姓宇都宮氏	進 竜一郎
南北朝期地方支配における大内氏一弘世期について	境 春海
唯一神道の伝播と西国大名一吉田兼右と大内義隆の交渉を中心に	

	桐田 貴史
元和期以降の公儀普請からみた徳川政権の対大名政策	川路 祥隆
藩領国における幕領町人の用達と紛争処理	川端 駆
日清戦争期における権力分立制の展開—枢密院の分析を中心に	田中 佑
戦時期九州統括機関の構想と実態	

—九州地方行政協議会と九州地方総監府	渡部 邦昭
--------------------	-------

彙報 中世史部会の活動報告 (文責・松尾)

◆市史研究ふくおか 福岡市博物館市史編さん室

〒814-0001福岡市早良区百道浜3-1-1 TEL092-845-5245

2006年創刊 <http://www.city.fukuoka.lg.jp/shishi/>

◇19 2024.3 A4 106p

特集 西島伊三雄と都市福岡のデザイン

第17回福岡市史講演会「西島伊三雄と都市福岡のデザイン」

西島伊三雄と都市ふくおかのデザイン—企画の意図 有馬 学

講演 西島伊三雄が残したもの

—西島伊三雄物語「好いとっちゃん博多」 西島 雅幸

対談 教育者としての西島伊三雄 大庭香代子／西島雅子

講演 図案屋からグラフィックデザイナーへ 武田 義明

講演 福岡の広告産業の特質 古川 智史

シンポジウム 西島伊三雄と都市福岡のデザイン

西島雅幸／大庭香代子／武田義明／古川智史／有馬学

附録 「西島伊三雄年表」について

黒田騒動における栗山大膳の意識と南部家への「御預」 石畑 匡基

奈多砂丘B遺跡出土炭化米の実年代 宮本 一夫

福岡市史編さん事業活動記録（令和5年1月～12月）

表紙 博多どんたく（西島伊三雄画）

沖 縄 県

◆宮古島市総合博物館紀要

〒906-0011宮古島市平良字東仲宗根添1166-287 TEL0980-73-0567

◇28 2024.3 B5 226p

宮古島発記録となるハマガニ(甲殻亜門：十脚目：短尾下目：モズク

ガニ科)の報告 砂川 栄喜

宮古・池間島のカツオ産業文化誌(5)

—地域モノグラフの代表的な事例を通じた総括的な検討 若林 良和

池間島の動物方言 仲地 邦博

池間島のツマビジは「端にあるサンゴ礁」 我那覇 念

宮古島市平良字西原「フツビューイヌサウヂィ」（大目選りの精進） 上原 孝三

狩俣の神歌 fusa(草) ma:dzi-mara マーズマラ 本永 清

献上馬と倭寇(鉄編) 長濱 幸男

近世宮古島料紙の顕微鏡分析 前村 佳幸

マサクとその時代 大西 威人

プロビデンス号の航跡と大航海時代	池城 直
資料紹介 宮古島市総合博物館所蔵の稲村賢敷発掘資料について	
―資料の概要、調査活動との関係性	湯屋 秀捷
「軍国少年」から「みやこ九条の会」へ	
第一部 「祖国復帰」運動の一環として	仲宗根將二
第二部 「祖国復帰」以後	仲宗根將二

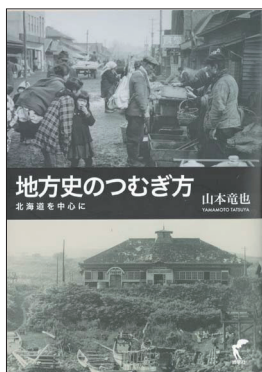
寄贈図書紹介

◆地方史のつむぎ方 北海道を中心に

山本竜也著 尚学社（〒113-0033 東京都文京区本郷1-25-7 TEL03-3818-8784）

2024年1月 A5 446頁 3400円＋税

これまで北海道の地方史の調査・公表に取り組んできた著者が、炭鉱・鉄道・古地図・女性・先住民族・空襲・武四郎・児童文学・方言・写真など、数々のテーマに取り組む在野研究者・作家・学芸員・大学教員ら24人にインタビューし、彼らの手法を探るとともに、自らの経験から得た地方史の調査方法を存分に伝える。



はじめに／第1部 地方史研究と私（寿都空襲を追う、北海道空襲犠牲者名簿を作る、寿都の50の話をまとめる、人生を聞いて書く、寿都の歴史写真集を作る、気象資料からみる歴史、自費出版して売れるのか）／第2部 地方史を調べる人たち 雄別炭砦の歴史を記録する―三沢悟さん、別海町の拓殖産業と開拓保健婦を追う―清水節子さん・小泉久美子さん、中標津発展のいしずえ 伝成館を保存運営―飯島実さん、道内の歴史本 集めに集めた9000冊―福田光夫さん、ギリシャ数学史と奄美の住民運動史―斎藤憲さん、2万人に聞いた方言調査―見野久幸さん、北海道の庶民史を書き続けてきた―菊地慶一さん、北海道の女たちに会い続けた人生―高橋三枝子さん、近世・明治の北方図研究―高木崇世芝さん、親子

3代の鉄道写真から始まった鉄道本一原田伸一さん、図書館・貸本屋・古書店の歴史を調べる一藤島隆さん、中学生時代から追った定山溪鉄道一久保ヒデキさん、学生時代から続けるアイヌ史研究一平山裕人さん、旭川の子どもの遊びを聞いて描く一堀川真さん、江別の人と風土を描く一藤倉徹夫さん、最後の砂金掘りに話を聞く一加藤公夫さん、松浦武四郎研究のこれまでとこれから一三浦泰之さん、米軍資料をもとに空襲を研究する一工藤洋三さん、広範な資料収集と調査にこだわって一白戸仁康さん、学芸員・大学教員として千島の歴史を研究する一川上淳さん、新冠御料牧場の歴史を明らかに一山本融定さん、プランゲ文庫の児童書を整理・研究一谷暎子さん、掛川源一郎の写真作品をアーカイブ一小室治夫さん、24人の歴史との出会いから成果発表まで／第3部 資料を調べる（裏付けをとる、図書館を使う、新聞を調べる、人口を調べる、人を調べる、漁業統計を調べる、農業統計を調べる、鉄道を調べる、鉱山を調べる、気象資料を調べる、船を調べる、戦争犠牲者を調べる、絵葉書・写真を調べる、参考になる本）／おわりに

◆福島県歴史資料館収蔵資料目録55 県内諸家寄託文書49

福島県文化センター歴史資料課編 福島県文化振興財団（〒960-8116 福島県福島市春日町5-54 TEL024-534-9193）2024年3月 B5 56頁

昭和45年の開館以来、約24万点の歴史資料を収集・保存してきた福島県歴史資料館。昭和46年度から刊行を開始した収蔵資料目録の55冊目として、6件の文書群の目録を収録する。序（鈴木淳一）／凡例／井筒平氏寄贈文書（13点、福島市）／金子一郎氏寄贈文書（7点、福島市）／福島大学明治期布達集（その一）（22点、福島市）／安井健夫家文書（その一）（131点、福島市）／高原庄一家文書（その一）（284点、伊達郡国見町）／国見町藤田区有文書（その三）（127点、伊達郡国見町）

◆清瀬市史6 資料編 現代

清瀬市編・刊（〒204-8500 東京都清瀬市中里5-842 清瀬市企画部シティプロモーション課市史編さん室 TEL042-492-5111）2024年3月 B5 626頁

市制施行50周年を記念して2020年3月から刊行が開始された新『清瀬市史』の最新刊。清瀬市域から出土した主要な考古資料を、旧石器から近世・近現代まで時代ごとに分けて編集し、あわせて地域の地形・地質および環境史に関する解説も収録する。口絵／編集にあたって（谷口康浩）／第1章 清瀬の地理と古環境（地形と地質、先史時代における武蔵野台地の古環境とその変遷）／第2章 清瀬市域の遺跡（遺跡の立地と時期、市域における発掘調査の概要）／第3章 旧石器時代（概説 旧石器時代、旧石器時代の遺跡、強清水遺跡出土黒曜石製石器の産地推定）／第4章 縄文時代（概説 縄文時代、草創期・早期・前期の遺跡、中期の遺跡、後期・晩期の資料、縄文土器の種実・昆虫圧痕、X線CTによる縄文土器の潜在圧痕調査）／第5章 弥生時代・古墳時代（概説 弥生・古墳時代、弥生時代・古墳時代の遺跡）／第6章 古代（概説 古代、古代の遺跡、出土文

字資料(墨書土器)、土師器の植物圧痕、下宿内山遺跡より出土した炭化モモ核)／第7章 中世・近世・近現代(概説 中世・近世・近現代の遺跡、中世の下宿内山遺跡、近世の下宿内山遺跡、近現代の下宿内山遺跡、清瀬市域の中世以降の遺跡)／出典など一覧／あとがき

◆知られざる佐渡の郷土史家・蒐集家―青柳秀雄の生涯とその業績

北見継仁編著 皓星社 (〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-10 宝栄ビル6階 TEL03-6272-9330) 2024年4月 A5 290,6頁 4500円＋税

青柳秀雄(1909[明治42]－1969[昭和44])は、新潟県三島郡寺泊町(現長岡市)で寺の子として生まれた。方言研究から、やがて佐渡の民俗研究を志し、膨大な資料収集と民俗雑誌を創刊するなどし、柳田國男の知遇も得た。本書は、死後に散逸してしまった著作・刊行物と蔵書を、古書目録や県内外の図書館等で博搜し、また自ら買い求め、青柳の履歴、関連事項と共に著作年譜形式で配したものである。佐渡民俗研究の先駆けでありながら、現在はほとんど知られることのない青柳の知的生産活動の足跡をたどり、再評価する。第2部に、青柳が創刊した3誌の創刊号の復刻と、編集書2点を収録する。普段目にすることのできない貴重な資料である。



第1部 知られざる佐渡の郷土史家・蒐集家(はじめに、青柳秀雄の生涯とその業績、おわりに(参考文献及び引用文献、図版目次))／第2部 復刻『佐渡郷土趣味研究』第一輯(昭和5年1月16日発行)、復刻『土俗研究』創刊号(昭和7年5月31日発行)、復刻『佐渡研究』第一輯(昭和8年8月25日発行)、復刻『佐渡研究』創刊号(昭和8年10月30日発行)、翻刻『佐渡蒐集家名簿』(昭和8年12月20日発行)／解説 民間伝承の会「支部」をめぐる(菊地暁)、ブックコレクターとしての青柳秀雄(小林昌樹)／索引

◆君尾山光明寺文化財調査報告Ⅱ・由良神社文化財調査報告

京都府立大学文化遺産叢書27

京都府立大学文学部歴史学科編・刊（〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5
TEL075-703-5271）2024年3月 A4 145+23頁

地域の歴史や文化遺産について平成25年度より刊行されている京都府立大学文学部歴史学科の研究成果報告第27集。京都府立大学地域貢献型特別研究(ACR)2020年度～2023年度による調査のうち、綾部市君尾山光明寺および宮津市由良神社の文化財調査成果報告書。刊行にあたって(京都府立大学文学部歴史学科)／〔第1部 君尾山光明寺文化財調査報告Ⅱ〕 光明寺の仏像(井上一稔)、光明寺仏像悉皆調査(井上一稔・高口柚・工藤裕司)／〔第2部 由良神社文化財調査報告〕

由良神社文書目録(京都府立大学文学部歴史学科文化情報学研究室)、由良神社建築資料(図面)目録(岸泰子)、特論 由良神社の社殿造営と境内整備(岸泰子)、特論 峰山藩今城家の神職相続(渡邊幸奈)、特論 軍鑑由良と艦内社としての由良神社(正瑞千幸)、特論 海軍・谷本馬太郎と由良神社・由良村の交流(東昇)、特論 近代の由良神社祭礼と地域参加(長谷川巴南)、特論 由良神社の建造物(岸泰子)、コラム1 近世由良脇の分算文書(東昇)、コラム2 由良・金毘羅神社の棟札(岸泰子)／史料編 由良神社文書史料翻刻(京都府立大学文学部歴史学科文化情報学研究室)、由良神社棟札翻刻(岸泰子)

◆夜久野の後記古墳と末窯跡群 京都府立大学文化遺産叢書28

菱田哲郎・諫早直人編 京都府立大学文学部歴史学科(同上)2024年3月 A4 228頁

京都府立大学地域貢献型特別研究(ACR)を中心として2019年から取り組んできた福知山市夜久野町の夜久野末窯跡群の分布調査、および夜久野町化石・郷土資料館所蔵の後記古墳出土資料の実測調査の報告書。刊行にあたって(編者)／〔Ⅰ部 序説〕 調査の目的と経緯(菱田哲郎)、夜久野の自然と景観(福井亘)、夜久野の地質(小滝篤夫)、夜久野の文化財(鷺田紀子)、夜久野地区寺社建築悉皆調査(岸泰子)、夜久野の歴史概観(菱田哲郎)／〔Ⅱ部 夜久野の後記古墳〕 古墳出土資料の調査経緯(菱田哲郎)、夜久野の古墳と周辺環境(守田悠)、記録からわかる長者森古墳と太田森2号墳の出土品(岡田大雄)、長者森古墳(守田悠・溝口泰久・諫早直人)、太田森2号墳(守田悠・小林楓・溝口泰久・池田野々花・諫早直人・横白彩江)、長谷古墳(守田悠・諫早直人)、夜久野ヶ原石切場附近古墳(諫早直人)、小倉田古墳出土双龍環頭大刀(諫早直人・栗山雅夫・初村武寛・金宇大)、千切塚古墳群・竹ノ内古墳群(菱田哲郎)、総括(諫早直人)／〔Ⅲ部 夜久野末窯跡群〕 夜久野末窯跡群の立地(吉永健人)、分布調査の方法と経過(梅野留美子・菱田哲郎・井川瑞季)、牧川北岸地区(井川瑞季・山内愛弓・池田野々花)、牧川南岸西地区(池田野々花・井川瑞季・溝口泰久・吉永健人)、牧川南岸東地区(小林楓・吉永健人)、夜久野末窯跡群採集炭化材の自然科学的分析(諫早直人・松田篤・高橋敦・加速器分析研究所)、末親谷堆積物の花粉分析(佐々木尚子)、夜久

野町末の地質―はんれい岩の風化(小滝篤夫)、須恵器の鉱物組成とその胎土の推定(予察)(小滝篤夫)、総括(菱田哲郎)／〔Ⅳ部 成果の発信と活用〕中夜久野地区公民館における調査成果報告会(菱田哲郎・守田悠)、横穴式石室と遺物出土状況の三次元復元によるAR(拡張現実)コンテンツの制作(仲林篤史)、夜久野末窯跡群の保全と活用について(松本学博)

◆播磨神光寺と岩座神地区の文化遺産 京都府立大学文化遺産叢書29

菱田哲郎・岸泰子編 京都府立大学文学部歴史学科(同上)2024年3月 A4 150頁

兵庫県多可郡加美町岩座地区で2022年に実施した文化遺産フィールド実習を契機に行った文化遺産調査の報告書。刊行にあたって(編者)旧神光寺跡の踏査(諫早直人・山内愛弓・井川瑞季・菱田哲郎)、岩座神神光寺遺跡の調査(安平勝利)、古代多可郡の形成と仏教寺院の展開(菱田哲郎)、岩座神五霊神社の建築とその使われ方(岸泰子・橋本唯)、岩座神地区所蔵の地籍図史料(上杉和央)、岩座神地区の棚田調査報告(京都府立大学文学部地理学研究室)、岩座神地区文書の調査概要と内容(長谷川巴南)、近世岩座神村神光寺の仁王門修復と信仰圏(渡部凌空)、安政3年五霊大明神と神光寺の梵鐘調査(東昇)、岩座神村の延宝検地帳(小原万侑)、近世後期岩座神村の家族・婚姻・相続(小島慧音)、近世後期岩座神村の災害と村の対応(島村朱音)、近世後期から明治初年における岩座神村の村中小入用帳と村財政(上武恒介)／岩座神地区文書目録(京都府立大学文学部文化情報学研究室)、岩座神地区文書史料翻刻(京都府立大学文学部文化情報学研究室)

◆舞鶴木船衛門家文書調査報告 京都府北部MALUI連携事業

京都府立大学文化遺産叢書30

東昇編 京都府立大学文学部歴史学科(同上)2024年3月 A4 150頁

京都府立大学地域貢献型特別研究(ACTR)である「京都府北部MALUI連携事業による文化資源を活かした地域づくり」(2022・23年度)の成果報告書。刊行にあたって(京都府立大学文学部歴史学科)／〔第Ⅰ部 京都府北部MALUI連携事業報告〕京都府北部のMALUI連携と「まるまる舞鶴」(東昇)、京都府立東舞鶴高校における連携授業「古写真から見る近代の舞鶴」(渡邊幸奈)／〔第Ⅱ部 木船衛門家文書調査報告〕丹後国田辺藩大庄屋木船衛門文書の調査と概要(長谷川巴南)、文化期の庄屋・大庄屋文書、箱14.18の概要(東昇)、田辺藩の村方下賜・格式仰付―嘉永元年見樹院250回忌及び上金を事例に(渡部凌空)、近世後期田辺藩領内の火事と焼失割(東昇)、安政5年海防御見分における大庄屋木船家の役割(上武恒介)、「木船衛門家文書」に接して(上井竜雄)、丹波・丹後地方の養蚕業と木船衛門(正瑞千幸)、家相家木船取司と家相判断(渡邊幸奈)、明治期舞鶴の鉄道誘致運動と木船衛門家文書(廣瀬邦彦)／木船衛門家文書目録(京都府立大学文化情報学研究室・舞鶴地方史研究会)、木船衛門家文書史料翻刻(京都府

立大学文化情報学研究室・舞鶴地方史研究会)／文化遺産叢書リスト

◆**京都市歴史資料館所蔵 燈心文庫本東大寺文書調査報告書**

京都府立大学文化遺産叢書31

横内裕人・三輪眞嗣・泰地翔太編 京都府立大学文学部歴史学科(同上)2024年3月 A4 108頁

2018～2023年度科学研究費基盤研究(B)「南都の未整理文書聖教にもとづく寺社とその周辺社会の調査研究」研究成果報告書による、京都市歴史資料館に保管される燈心文庫の東大寺文書の調査成果報告。京都大学名誉教授 林屋辰三郎氏蒐集の燈心文庫のうち、重要文化財「京都北関入船納帳」をはじめとする東大寺文書群82通をすべて翻刻し、主要な文書の写真とともに公開する。刊行にあたって(京都府立大学文学部歴史学科)／解題 京都市歴史資料館所蔵 燈心文庫東大寺文書(横内裕人)／凡例／目録／翻刻(横内裕人・三輪眞嗣・泰地翔太)／写真篇

◆**杉村久子日記一明治四十四年から大正元年(一) 大阪市史史料94**

大阪市史編纂所編 大阪市史料調査会(〒550-0014 大阪市西区北堀江4-3-2 大阪市立中央図書館内 TEL06-6539-3333) 2024年3月 A5 123頁 1800円

明治初期の実業家 五代友厚(1836-1885)の四女で、同じ大阪船場の実業家 杉村正太郎(1874-1943)と結婚した杉村久子(ヒサ)の、明治44年(1911)から昭和20年(1945)に至る日記「杉村久子日記」(稲岡正子氏所蔵)のうち、明治44年9月から45年6月までの10か月分を翻刻・掲載する。明治四十四年下(九月、十月、十一月、十二月、巻末覚書)／明治四十五年上(一月、二月、三月、四月、五月、六月、巻末覚書)／解題／五代家・杉村家(略系図)

◆**『中外電報』奈良県関係記事Ⅲ 奈良県同和问题関係史料22**

奈良県立同和问题関係史料センター編・刊(〒630-8133 奈良県奈良市大安寺1-23-1 TEL0742-64-1488) 2024年3月 A5 176頁

『京都新聞』の前身である『日出新聞』(明治18年<1885>4月10日創刊、同30年7月1日『京都日出新聞』改題)の奈良県関係記事をまとめた『『日出新聞』奈良県関係記事』Ⅰ～Ⅳ(奈良県同和问题関係史料16～19、2015年3月～2019年3月)に続き、同じ前身紙の『中外電報』(明治17年<1884>10月10日『京都滋賀新報』から改題、同25年9月30日廃刊)を翻刻。Ⅰ(2022年3月)、Ⅱ(2023年3月)に引き続き、明治22年1月から同年12月までの奈良県に関する記事を翻刻・収録する。明治22年(1889)1月～12月／解説

◆後記

3月末に、春から中学生になる孫を誘って広島に出かけ、被爆者の方のお話を伺った。そのWさんは、未就学の6歳の時に被爆した。両親、三つ年上の姉、1歳の妹、祖母の6人暮らしであったが、母、姉、妹、祖母を亡くした。原爆投下の日には夏休みで、朝から近所の小学生に連れられて、爆心地から1.7^{km}の京橋川に釣りにでかけていた。水際に降りていたため、土手が盾となり、爆風を直接受けなかったのが幸いであった。しかし、ひどい皮膚病に罹り、15歳まで発育不良だった。避難の途中、黒焦げになった遺体や、皮膚が和服の長袖のように垂れ下がった女の人の姿など悲惨な状況を目の当たりにした。友だちと外で遊んでいたと思われる姉は未だに行方が分からない。今もどこかで身元不明の遺骨が見つかったと聞けば尋ねていく。どのように亡くなったのか知りたいとの思いは消えない。Wさんの肉声は、12歳の孫の胸に生々しく刻まれたに違いない。

Wさんの被爆体験は、広島平和記念資料館平和データベースの「被爆者証言ビデオ」に収録され、インターネット上で公開されている。出かける前に、孫と同行した妻の3人で何度も観返した。データベースには現在660名余の証言が登録され、フリーワード、「孤児」や「学生」など設定されたキーワード、証言者の氏名、地図(地区)、「爆心地からの距離」や「被爆当時の年齢」などの条件から検索ができる。証言ビデオといえば、330人分の東京大空襲証言ビデオが、「仮称・都平和祈念館」建設が頓挫したことで30年も封印されている。それが、今年2月の「東京空襲資料展」と、3月の「都平和の日記念式典」の会場で限定的に公開された。一步前進であるが、広島同様の広く自由な公開が望まれる。

これとは別に、広島と長崎にある国立の原爆死没者追悼平和祈念館では、原爆で多くの人が亡くなった事実を伝えるため、原爆死没者(被爆地での直接被爆者、投下後2週間以内に被爆地に入って被爆した者、救援活動等で放射能被害を受けた者、それらの胎児)の名前と遺影を登録し、館内で公開している。Wさんも、母、姉、妹、祖母を登録しており、一緒に閲覧し、ここでも家族の思い出を聞かせていただいた。祈念館は現在も登録を呼びかけている。遺族の希望で非公開にすることもできる。事実をしっかりと記録して後世に伝えることは、新しい社会を築くために何より重要なことであると強く感じた。(飯澤)

地方史情報 167 2024年(令和6年)5月1日 発行

編集・制作 : 白鳥舎 hakucho@eris.ais.ne.jp

ウェブサイト公開: 岩田書院 <http://www.iwata-shoin.co.jp>

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757

*本誌は、140号より、PDF版のみの発行です。